

工 事 番 号							
設計年度	令和 4 年度	三原西処理分区污水管新設工事（4-1工区） 仕様書 公共下水道事業 三原市頼兼一丁目					
施工月日	令和 年 月 日						
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要				起 工 理 由			
・ 路線延長（污水補助） L=72.0m 管体延長（推進） φ250 L=70.0m 立坑工 一式 付帯工 一式							

仕 様 書

特記仕様書

第1章 総則

第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市頼兼一丁目 公共下水道事業 三原西処理分区污水管新設工事（4-1 工区）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。
 - ・土木工事共通仕様書 令和4年8月 広島版
広島県の調達情報のページ (<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>) - 「技術管理基準等」に掲載している。
 - ・下水道土木工事必携(案) 2021年度 公益社団法人日本下水道協会
 - ・下水道用設計指針と設計標準図 平成26年度改訂版 三原市
 - ・その他関連規格類

第2節 現場の管理

受注者は、工事現場内において、管理技術者、主任技術者(下請を含む。)に工事名、工期、顔写真、所属会社名及び証明印の入った名札を着用するものとする。

第3節 部分引渡し

建設工事契約約款第38条により、本工事の内、部分引渡しの必要が生じた場合は、当該部分の検査を受け部分引渡しを行うこと。

第4節 検査

土木工事共通仕様書（令和4年8月広島版）『第3編 1-1-8 技術検査』によるほか、三原市工事検査規程の定めるところによる。

第5節 情報共有システム（設計金額500万円以上が対象）

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報交換システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。

広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用

料を支払うものとする。

- 4 なお、工事完成時については、提出する必要がある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第6節 法定外の労災保険の付保

- 1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。
- 2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。
- 3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乗せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第2章 施工条件

第1節 工程

1 地下埋設物・埋蔵文化財の事前調査

調査項目	地下埋設物（水道管、ガス管、NTT ケーブルなどの埋設物あり）
調査時期	工事施工前に試掘を行うこと。（支障物件が発見された場合は、監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）
移設時期	必要に応じて、別途協議するものとする。
提出書類	「試掘結果報告書」として、提出するものとする。また、提出部数については監督員の指示によるものとする。

第2節 用地

- 1 借地 あらかじめ近隣住民に借地する目的、作業内容を充分説明し、同意を得て借地すること。

第3節 公害対策

1 事前・事後調査

調査区分	事前・事後及び工事施工中も大きな被害がある旨の申し出を受けた場合、監督員と協議の上調査すること。
調査時期	施工前・施工中・施工後（1ヶ月以内）

調査内容	柱，屋根，壁，基礎，建具等の傾斜，損傷状況
範囲	別途協議による。

第4節 安全対策

1 交通誘導員・保安要員

工事作業期間中の交通誘導員は，推進工事2（人／日）を見込んでいる。

第5節 工事用道路

1 一般道路

搬入経路 特に指定しない。

使用期間 工事施工期間

使用時間 8時30分～17時

工事中・後の処置 随時 清掃， 工事後 舗装欠損部補修（工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。）

第6節 建設副産物

1 建設発生土（搬出）（建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積））

当該工事により発生する建設発生土は，公の関与する埋立地，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）のいずれかに搬出するものとする。

また，搬出先として，運搬費と受入費（平日の受入費用）の合計が最も経済的になる建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）を見込んでいる。したがって，正当な理由がある場合を除き残土処分に要する費用（単価）は変更しない。

なお，工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により，建設発生土処分先一覧表に掲載されている建設発生土リサイクルプラント，建設発生土受入地又は建設発生土受入地（一時たい積）への搬出が困難となった場合は，発注者と受注者が協議するものとする。

2 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には，保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また，届出事項を変更する場合は事前に変更届を，保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。

ただし，産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第7節 仮設工

湧水等により、見込んでいる仮設工法が適さない場合や適用できない場合は、任意仮設についても設計変更することができる。

ただし、変更しようとする者は、見込んでいる仮設工法が適用できない根拠を文書等に示すとともに、適した仮設工法の仕様や構造計算書等を添付し、監督員と協議すること。

第8節 工事支障物件

1 地下・地上支障物

支障物件名	水道管，ガス管，NTT ケーブル
管理者	三原市水道部，広島ガス㈱，NTT
位 置	協議による
移設時期	協議による

第9節 管内テレビカメラ調査

管内テレビカメラ調査については、下水道管路施設の点検・調査マニュアル（案）（平成25年6月社団法人日本下水道協会）を準拠し実施すること。

第10節 推進工法

受注者は、本工事における推進工法の選定が適切かどうかを照査すること。照査の結果、不適切と判断される場合は、双方協議のうえ、変更することを可能とする。

第11節 薬液注入

1 薬液注入

「薬液注入工法による建設工事の施工に関する暫定指針」に基づき施工すること。

「薬液注入工事に係る施工管理等について」に基づき管理すること。

2 周辺環境調査

施工前・中1回・後の3回地下水の水質を調査すること。

第12節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場 所	指定しない
期 間	指定しない
保管方法	指定しない

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和4年8月広島版）『第1編 1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 工事保険等

受注者は、本工事において第三者に与えた損害を補填する保険又はその他必要とする建設工事に関連する保険等に加入しなければならない。また、加入した保険等については、保険証券の写し（保険以外の場合はそれに代わるもの）を監督員に提出すること。

なお、加入に必要な保険料等は、設計で現場管理費に見込んでいる。

第5章 工事損失等

本工事の施工に伴い、通常避けることのできない地盤沈下、振動等により建物等に損害等（以下「工事損失」という。）が発生した場合においては、次のとおりとする。

なお、工事損失に伴う補償費用は、設計で現場管理費に見込んでいる。

- | | |
|--------------|---|
| (1) 原因調査 | 監督員と協力して行なうものとする。 |
| (2) 補償交渉 | 監督員と協力して処理解決に当るものとする。 |
| (3) 応急処置 | 監督員から応急処置を講じる必要があると指示された場合は、直ちに応急処置を講ずるものとする。 |
| (4) 補償費用負担割合 | 発注者は、工事損失に伴う補償費用のうち、請負代金額の100分の1を超える額を負担する。 |

第6節 施工合理化調査等

当該工事において受注者は、施工合理化調査等の対象なった場合、資料作成等に協力しなければならない。

第7章 その他

本工事内及び近接する地域住民、企業等には工事内容等を十分に周知・調整したうえで、苦情やトラブルのないよう施工に努めること。また、特記仕様書及び設計図書に明示していない事項、または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
管路施設(推進工法)(小口径推進)		式	1	レベル1
管きょ工(小口径推進)		式	1	レベル2
小口径泥土圧推進工		式	1	レベル3
推進用鉄筋コンクリート管(小口径泥土圧)		式	1	レベル4
立坑内管布設工		式	1	レベル3
鉄筋コンクリート		m	1.10	レベル4
仮設備工(小口径)		式	1	レベル3
坑口(小口径)		式	1	レベル4
鏡切り		式	1	レベル4
推進設備等設置撤去		式	1	レベル4
推進水替工		式	1	レベル3
推進用水替		式	1	レベル4
補助地盤改良工		式	1	レベル3
薬液注入		式	1	レベル4
立坑工		式	1	レベル2
管路土工	軽量鋼矢板立坑	式	1	レベル3
管路掘削		式	1	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
管路埋戻		式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
土留工		式	1	レベル3
軽量鋼矢板土留		式	1	レベル4
切梁・腹起し		t	0.7	レベル4
管基礎工		式	1	レベル3
コンクリート基礎		m	1	レベル4
管路路面覆工		式	1	レベル3
覆工		式	1	レベル4
鋼製ケーシング式土留工及び土工	呼び径 2,000mm	式	1	レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削	呼び径 2,000mm	m	4.7	レベル4
底盤コンクリート	呼び径 2,000mm	箇所	1	レベル4
圧入掘削設備	呼び径 2,000mm	箇所	1	レベル4
鋼製ケーシング存置		m	4.7	レベル4
仮設ケーシング損料	呼び径 2,000mm	式	1	レベル4
立坑排水	呼び径 2,000mm	箇所	1	レベル4
排水運搬処理	呼び径 2,000mm	箇所	1	レベル4
円形覆工板		箇所	1	レベル4

工事数量総括表

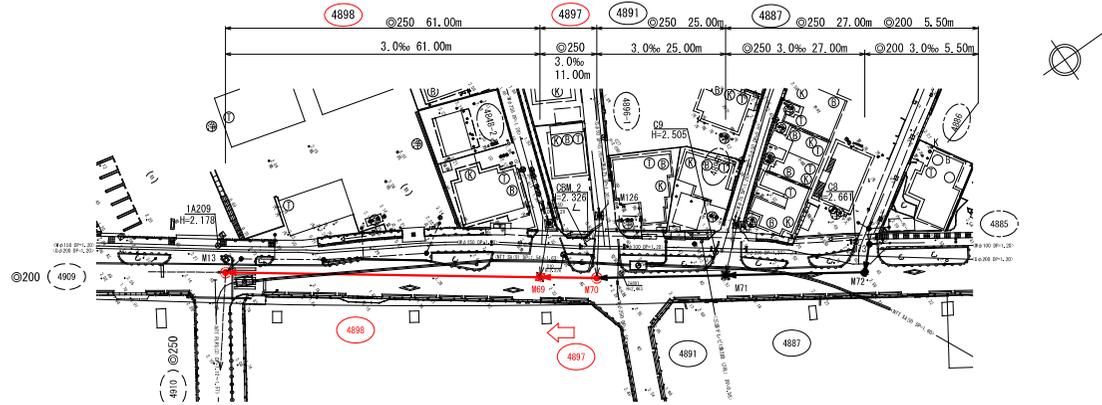
頁0 -0003

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
立坑付帯工	呼び径 2,000mm	式	1	レベル3
立坑埋戻	呼び径 2,000mm	式	1	レベル4
発生土処理		式	1	レベル4
組立マンホール工		式	1	レベル3
組立1号マンホール		箇所	2	レベル4
外副管		箇所	1	レベル4
付帯工		式	1	レベル2
舗装撤去工		式	1	レベル3
舗装版切断		m	59	レベル4
舗装版破碎(小規模)		m ²	29	レベル4
殻運搬処理		m ³	1	レベル4
舗装復旧工		式	1	レベル3
不陸整正		m ²	15	レベル4
下層路盤(車道・路肩部)		m ²	14	レベル4
上層路盤(車道・路肩部)		m ²	14	レベル4
表層(車道・路肩部)		m ²	15	レベル4
舗装仮復旧工		式	1	レベル3
表層(車道・路肩部)		m ²	14	レベル4

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
仮設工		式	1	レベル2
仮設工		式	1	レベル3
交通誘導員		m	1	レベル4
直接工事費				
運搬費				
運搬費		式	1	レベル2
運搬費		式	1	レベル3
仮設材運搬費		t	4.8	レベル4
技術管理費				
技術管理費		式	1	レベル2
技術管理費		式	1	レベル3
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
契約保証費				

汚水平面図 S=1:500

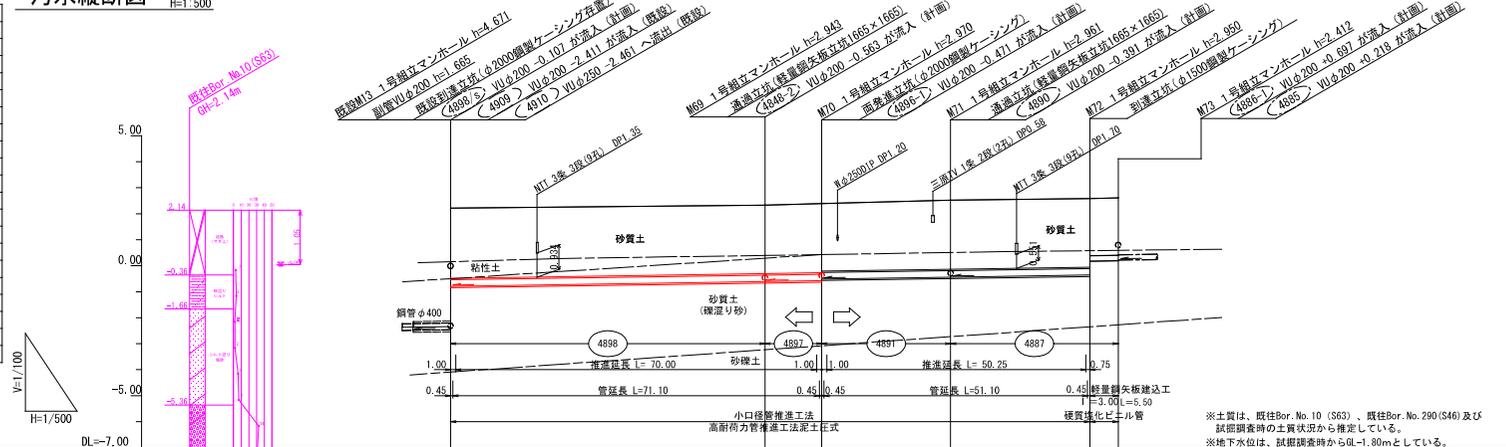


汚水横断面図 S=1:100

(別紙参照)

汚水縦断面図 V=1:100
H=1:500

- | 凡 例 | |
|-------|--------------|
| — | 汚水実施 |
| --- | 雨水既設 |
| ---- | 汚水既設 |
| | 雨水計画 |
| ----- | 汚水計画 |
| + | 雨水同一施工 |
| ++ | 汚水同一施工 |
| ⊙ | 3号組立マンホール |
| ⊘ | 2号組立マンホール |
| ⊚ | 1号組立マンホール |
| ⊛ | 0号組立マンホール |
| ● | 埋じ製小型マンホール |
| ○ | 汚水機取付 |
| ◐ | 雨水機取付 |
| ◑ | 外副管設置 |
| ◒ | 内副管設置 |
| ○ | 水道管 |
| ○ | ガス管 |
| ○ | N T T 地下ケーブル |
| ○ | 中電地下ケーブル |



施工位置図 S=1/5000



施工箇所

管 径 (mm)	φ250					φ200
	61.00	11.00	25.00	27.00	5.50	
勾 配 (%)	3.0					
マンホール間距離	61.00	11.00	25.00	27.00	5.50	
地 壁 高	2.21	2.33	2.39	2.52	2.59	
土 被 り	2.70	2.64	2.67	2.66	2.65	
管 底 高	-0.796	-0.616	-0.590	-0.441	-0.360	
掘 削 深	3.06	3.00	3.03	3.02	3.01	
追 加 距 離	0.00	61.00	72.00	97.00	124.00	
区 間 距 離	0.00	61.00	72.00	97.00	124.00	

管番号	管径	工法	延長
4898	φ250	推進・補助	61.00
4897	φ250	推進・補助	11.00
計			72.00

令和4年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)

工事名 三原西処理区分区汚水管新設工事 (4-1工区)

工事場所 三原市 頼兼一丁目

施工管番号

図面番号 1 縮尺 図示

平面図・縦断面図

三原市

※土質は、既往Bor. No.10 (S63)、既往Bor. No.290 (S46) 及び試験調査時の土質状況から推定している。
※地下水水位は、試験調査時から0.1~1.80mとしている。

— 参 考 資 料 —

令和 4 年度

三原西处理分区污水管新設工事(4-1工区)

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日 諸経費体系	0 59 三原市 00-04. 09. 01(0) 1 公共(一般)	<<凡例>> Co ...コンクリート As ...アスファルト DT ...ダンプトラック BH ...バックホウ CC ...クローラクレーン TC ...トラッククレーン RTC...ラフテレーンクレーン
	当世代 工種 31 下水道工事(2) 施工地域・工事場所区分 02 市街地(DID補正) 復興補正区分 00 補正なし 週休補正区分 00 補正なし 現場事務所等の貸与区分 00 補正なし ICT補正区分 00 補正なし 冬期補正係数 00 補正なし 緊急工事区分 00 通常工事 0% 前払金支出割合区分 00 補正無し 契約保証区分 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額、労務管理費、安全訓練等に要する費用等）が必要であり、本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

－ 内 訳 表 －

令和 4 年度

三原西処理分区污水管新設工事(4-1工区)

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
管路施設(推進工法)(小口径推進)					Y1I02 レベル1
	1	式			
管きょ工(小口径推進)					Y1I0201 レベル2
	1	式			
小口径泥土圧推進工					Y1I020104 レベル3
	1	式			
推進用鉄筋コンクリート管(小口径泥土圧)					Y1I02010401 レベル4
	1	式			
推進用鉄筋コンクリート管 M13～M70					V0002 00
	70	m			単第0 -0001 表
発生土処理					F0021 00
	10	m ³			
立坑内管布設工					Y1I020112 レベル3
	1	式			
鉄筋コンクリート					Y1I02011202 レベル4
	1.10	m			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
硬質塩化ビニル管布設工 呼び径 250mm	1.10	m			SG1D0006001 00 単第0 -0010 表
仮設備工 (小口径)	1	式			Y1I020112 レベル3
坑口 (小口径)	1	式			Y1I02011202レベル4
坑口 (小口径)	1	式			V0020 00 単第0 -0011 表
鏡切り	1	式			Y1I02011202レベル4
鏡切り	1	式			V0026 00 単第0 -0018 表
推進設備等設置撤去	1	式			Y1I02011202レベル4
推進設備等設置撤去	1	式			V0030 00 単第0 -0022 表
推進水替工	1	式			Y1I020116 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
推進用水替	1	式			Y1I02011601レベル4
ポンプ運転工 排水量 120(m3/h)以上450(m3/h)未満 作業時排水	44	日			SG1D0107001 00 単第0 -0026 表
補助地盤改良工	1	式			Y1I020117 レベル3
薬液注入	1	式			Y1I02011701レベル4
薬液注入工 M13 上流	3	本			SG1D0039001 00 単第0 -0027 表
薬液注入工 M69 下流	3	本			SG1D0039001 00 単第0 -0031 表
薬液注入工 M69 上流	3	本			SG1D0039001 00 単第0 -0032 表
薬液注入工 M70 下流	3	本			SG1D0039001 00 単第0 -0033 表
薬液注入工 M69 底盤	3	本			SG1D0039001 00 単第0 -0034 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 注入設備据付・解体工(車上)	数量	単位	単価	金額	備考
	1	現場			SG1D0039004 00 単第0 -0035 表
立坑工					Y1I0202 レベル2
	1	式			
管路土工 軽量鋼矢板立坑					Y1I020201 レベル3
	1	式			
管路掘削					Y1I02020101 レベル4
	1	式			
立坑掘削工(クラムシエル)					SG1D0001004 00
	11	m3			単第0 -0038 表
管路埋戻					Y1I02020102 レベル4
	1	式			
機械投入埋戻工(バックホウ)					SG1D0002003 00
	6	m3			単第0 -0040 表
発生土処理					Y1I02020103 レベル4
	1	式			
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)					SG1E0003002 00
	4	m3			単第0 -0043 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など 【直接工事費に含まれる処分費等】	数量	単位	単価	金額	備考
					#0041
受入費(発生土)					F0031 00
	4	m3			
土留工					Y1I020202 レベル3
	1	式			
軽量鋼矢板土留					Y1I01010503 レベル4
	1	式			
軽量鋼矢板油圧圧入工					SG1D0033005 00
	20	枚			単第0 -0045 表
軽量鋼矢板油圧引抜工					SG1D0033006 00
	14	枚			単第0 -0047 表
軽量鋼矢板油圧引抜工					SG1D0033006 00
	6	枚			単第0 -0048 表
油圧式杭圧入引抜機据付解体工					SG1D0033007 00
	2	回			単第0 -0049 表
軽量鋼矢板賃料 M69					F0032 00
	1	式			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
軽量鋼矢板購入費	1	式			F0067 00
【諸経費対象外】					#0046
スクラップ (L=2.3m)	-0.3	t			F0065 00
切梁・腹起し	0.7	t			Y1I02020206レベル4
切梁・腹起し設置, 撤去 設置	0.7	t			SHD10019 00 単第0 -0050 表
切梁・腹起し設置, 撤去 撤去	0.7	t			SHD10019 00 単第0 -0051 表
山留材賃料	0.6	t			SHD10013 00 単第0 -0052 表
管基礎工	1	式			Y1I010103 レベル3
コンクリート基礎	1	m			Y1I01010304レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cm以下 RC-40	3	m2			SPK22040034 00 単第0 -0053 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	1	m3			SPK22040144 00 単第0 -0054 表
管路路面覆工	1	式			Y1I020207 レベル3
覆工	1	式			Y1I02020701レベル4
覆工板・覆工板受桁設置撤去工 推進立坑 覆工板設置面積50m2以下	4	m2			SG1D0038001 00 単第0 -0055 表
覆工板・覆工板受桁設置撤去工 推進立坑 覆工板設置面積50m2以下	4	m2			SG1D0038001 00 単第0 -0057 表
基礎碎石 碎石の厚さ7.5cm以下 RC-40	1	m2			SPK22040034 00 単第0 -0053 表
覆工板賃料 M69	4	m2			SHD10015 00 単第0 -0058 表
覆工板受桁及び覆工板受桁受賃料 設置面積700m2以下	4	m2			SHD10017 00 単第0 -0059 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製ケーシング式土留工及び土工 呼び径 2,000mm	1	式			Y1I020204 レベル3
鋼製ケーシング圧入掘削 呼び径 2,000mm	4.7	m			Y1I02020401 レベル4
圧入掘削積込み工 呼び径 2,000mm 砂質土	4.7	m			SG1D0602001 00 単第0 -0060 表
ケーシング溶接工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0602002 00 単第0 -0062 表
ケーシング引上げ工 呼び径 2,000mm 引上げ延長	1	箇所			SG1D0602003 00 単第0 -0064 表
底盤コンクリート 呼び径 2,000mm	1	箇所			Y1I02020402 レベル4
底盤コンクリート打設工 呼び径 2,000mm	3.1	m ³			SG1D0603001 00 単第0 -0066 表
圧入掘削設備 呼び径 2,000mm	1	箇所			Y1I02020403 レベル4
機械設置撤去工 呼び径 2,000mm	1	回			SG1D0604001 00 単第0 -0067 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
鋼製ケーシング存置	4.7	m			Y1I02020404レベル4
刃先 φ2000	1	個			F0060 00
鋼製ケーシング材料費 φ2000 t=16mm	4.7	m			F0056 00
【諸経費対象外】					#0046
スクラップ 鋼板・形鋼6mm以上	-0.05	t			F0023 00
仮設ケーシング損料 呼び径 2,000mm	1	式			Y1I02020405レベル4
仮設ケーシング損料 φ2000	1	回			F0026 00
立坑排水 呼び径 2,000mm	1	箇所			Y1I02020406レベル4
うわ水排水工	1	箇所			SG1D0607001 00
	1	箇所			単第0 -0068 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
排水運搬処理 呼び径 2,000mm	1	箇所			Y1I02020407レベル4
スライム処理工	1	箇所			SG1D0608001 00 単第0 -0069 表
汚泥吸排車運搬	1	m3			SHD10039 00 単第0 -0070 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
泥水処分費	1	m3			F0025 00
円形覆工板	1	箇所			Y1I02020408レベル4
円形覆工板設置工 呼び径 2,000mm	1	箇所			SG1D0609001 00 単第0 -0072 表
円形覆工板撤去工 呼び径 2,000mm	2	箇所			SG1D0609002 00 単第0 -0074 表
円形覆工板損料 φ2000 到達立坑M13	1	式			F0027 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
円形覆工板損料 φ2000 両発進立坑M70	1	式			F0028 00
立坑付帯工 呼び径 2,000mm	1	式			Y1I020201 レベル3
立坑埋戻 呼び径 2,000mm	1	式			Y1I02020102 レベル4
機械投入埋戻工(バックホウ)	11	m3			SG1D0002003 00 単第0 -0040 表
発生土処理	1	式			Y1I02020103 レベル4
発生土運搬工(4t積級, 2t積級, 機械積込み)	3	m3			SG1E0003002 00 単第0 -0043 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
受入費(発生土)	3	m3			F0031 00
組立マンホール工	1	式			Y1I010202 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
組立1号マンホール					Y1I01020202レベル4
	2	箇所			
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×300	1	個			TH003064 00
円形1号(内径900)I種 斜壁 600×900×450	1	個			TH003066 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×600	2	個			TH003072 00
円形1号(内径900)I種 直壁 900×1800	1	個			TH003080 00
円形1号(内径900)I種 管取付け壁 900×1800	2	個			TH003094 00
円形1号(内径900)I種 底版 H=130	2	個			TH003096 00
マンホール付属品 調整リング 600×100	4	個			TH003100 00
変形防止調整金具	2	個			F0062 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
汚水用人孔鉄蓋(テザン入・密閉ロック式転落防 φ600用 T-25	2	組			F0047 00
無収縮モルタル 25kg袋	1	袋			TH003190 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) ヒューム管用, 径250用	2	箇所			TH003116 00
マンホール削孔費 0・1号(I種) 塩ビ管用, 径200用	1	箇所			TH003130 00
底部工(組立式)(組立1号マンホール)	2	箇所			SG1D0053001 00 単第0 -0075 表
組立1号マンホール 1号(内径900mm) 深さ3m以下	2	箇所			SG1D0053002 00 単第0 -0078 表
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB バックホウ(クレーン機能付)打設	0.4	m3			SPK22040144 00 単第0 -0054 表
小口径推進用可とう継手 φ200 VU 組立・既設人孔用	1	組			F0008 00
小口径推進用可とう継手 φ250 VU 組立・既設人孔用	1	組			F0009 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
小口径推進用可とう継手 φ250 HP 組立・既設人孔用	3	組			F0010 00
外副管	1	箇所			Y1I01020207レベル4
外副管取付工	1	箇所			SG1D0051001 00
型枠 一般型枠 鉄筋・無筋構造物	0.9	m2			単第0 -0079 表 SPK22040146 00
コンクリート 無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB 人力打設	0.2	m3			単第0 -0080 表 SPK22040144 00
プレーンエンド直管 VU φ200	1.4	m			単第0 -0081 表 F0058 00
付帯工	1	式			Y1I0204 レベル2
舗装撤去工	1	式			Y1I020401 レベル3
舗装版切断	1	式			Y1I02040101レベル4
	59	m			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	22	m			SPK22040303 00 単第0 -0082 表
舗装版切断(仮舗装) アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	26	m			SPK22040303 00 単第0 -0083 表
舗装版破碎(小規模)	29	m2			Y1I02040103 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	15	m2			SPK22040018 00 単第0 -0084 表
舗装版破碎積込(小規模土工) (仮舗装)	14	m2			SPK22040018 00 単第0 -0085 表
殻運搬処理	1	m3			Y1I02040105 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超)	1	m3			SPK22040142 00 単第0 -0086 表
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入れ費	2	t			F0013 00

本工事費 内訳表

頁0 -0017

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装復旧工	1	式			Y1I020403 レベル3
不陸修正	15	m2			Y1I02040301 レベル4
不陸修正 補足材料無し	15	m2			SPK22040225 00 単第0 -0087 表
下層路盤(車道・路肩部)	14	m2			Y1I02040402 レベル4
下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚100mm 1層施工 RC-40	14	m2			SPK22040226 00 単第0 -0088 表
上層路盤(車道・路肩部)	14	m2			Y1I02040404 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚120mm 1層施工	14	m2			SPK22040228 00 単第0 -0089 表
表層(車道・路肩部)	15	m2			Y1I02040308 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m以上3.0m以下 1層当り平均仕上厚50mm	15	m2			SPK22040235 00 単第0 -0090 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装仮復旧工	1	式			Y1I020404 レベル3
表層(車道・路肩部)	14	m2			Y1I02040308 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) 1層当り平均仕上厚30mm	14	m2			SPK22040235 00 単第0 -0091 表
仮設工	1	式			Y1I0205 レベル2
仮設工	1	式			Y1I010601 レベル3
交通誘導員	1	m			Y1I01060101 レベル4
交通誘導警備員B	63	人			R0369 00
直接工事費 #0020計=支給品等(材料), 無償貸付					
運搬費					Z0004

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
運搬費	1	式			YZZ04 レベル2
運搬費	1	式			YZZ04001 レベル3
仮設材運搬費	4.8	t			YZZ04001004 レベル4
仮設材等(鋼矢板, H鋼, 覆工板, 敷鉄板等)運搬 運搬距離 2.1km 製品長 12m以内	1	式			S1000007 00 単第0 -0092 表
技術管理費					Z0006
技術管理費	1	式			YZZ06 レベル2
技術管理費	1	式			YZZ06001 レベル3
管路調査工 洗浄・カメラ調査・報告書含む	70	m			V0100 00 単第0 -0095 表
共通仮設费率分					Z0019

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
計算情報…… 対象額…… 率……					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報…… 対象額…… 率……					
** 工事原価 **					
一般管理费率分 計算情報…… 対象額…… 率……					前払補正率…
契約保証費 計算情報…… 対象額…… 率……					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					

— 施 工 单 価 表 —

令和 4 年度

三原西処理分区污水管新設工事(4-1工区)

施工単価表

推進工
M13～M70

V0004

単第0 -0002 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	2	人			
普通作業員	3	人			
土木一般世話役	1	人			
機-18_トラック(クレーン装置付)運転 ベーストラック4～4.5t積_吊能力2.9t	1	日			単第0-0003 表
機械器具損料(1) 推進装置	1	日			
機械器具損料(2) M13～M70	1	日			単第0-0004 表
諸雑費	3	%			#01
1m当たり		m			
*** 単位当たり ***	1	m			

施工単価表

機械器具損料 (2)

V0010

単第0 -0004 表

M13~M70

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
先導体	1	個			
標準ケーシング&スクリュ	30	個			
ピンチ弁	1	個			
カッタヘッド	1	個			
油圧ホース 5.0m/本	14	本			
電気ケーブルエアホース 5.5m/本	13	本			
全体割増		日			
*** 単位当たり ***	1	日			

施工単価表

鋼材溶接工

SG1E0098001

単第0 -0013 表

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.010	人			
溶接工	0.076	人			
普通作業員	0.021	人			
電力料	2.7	kWh			
被覆アーク溶接棒 高張力鋼用(JISZ3211)E4916 棒径5.0mm	0.4	kg			
電気溶接機 交流アーク式(手動・電撃防止器内蔵型) 定格電流250A	0.076	日			
諸雑費	30	%			#09
*** 単位当たり ***	1	m			
A=300 電力料【登録単価CODE】(kWh)					

施工単価表

ポンプ運転工

SG1D0107001

単第0 -0026 表

排水量 120 (m3/h) 以上450 (m3/h) 未満

作業時排水

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
特殊作業員	0.14	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	66	L			
<賃>建設用ポンプ(水中ポンプ) 口径150mm, 揚程10m 7.5kw	1.200	日			1*1.2
<賃>建設用ポンプ(水中ポンプ) 口径200mm, 揚程10m 11.0kw	2.400	日			2*1.2
<賃>発動発電機(ディーゼル発電機) 定格容量60kVA 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.200	日			1*1.2
諸雑費	3	%			#09
*** 単位当たり ***	1	日			
A=3 排水量 120 (m3/h) 以上450 (m3/h) 未満			B=1 作業時排水		

施工単価表

薬液注入工
M13 上流

SG1D0039001

単第0 -0027 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.090	人			
特殊作業員	0.270	人			
普通作業員	0.180	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	590.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.180	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.180	日			
削孔消耗材料費	2.910	m			単第0-0028 表
削孔消耗材料費	0.650	m			単第0-0029 表
注入消耗材料費	0.590	kL			単第0-0030 表 590/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=2.91 砂質土の削孔長(m) E=1.77 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0.65 粘性土の削孔長(m) F=3 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工
M69 下流

SG1D0039001

単第0 -0031 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.091	人			
特殊作業員	0.273	人			
普通作業員	0.182	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	599.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.182	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.182	日			
削孔消耗材料費	3.400	m			単第0-0028 表
削孔消耗材料費	0.100	m			単第0-0029 表
注入消耗材料費	0.599	kL			単第0-0030 表 599/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 单相方式 2セット C=3.4 砂質土の削孔長(m) E=1.797 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0.1 粘性土の削孔長(m) F=3 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工
M69 上流

SG1D0039001

単第0 -0032 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.091	人			
特殊作業員	0.273	人			
普通作業員	0.182	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	599.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.182	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.182	日			
削孔消耗材料費	3.400	m			単第0-0028 表
削孔消耗材料費	0.100	m			単第0-0029 表
注入消耗材料費	0.599	kL			単第0-0030 表 599/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 单相方式 2セット C=3.4 砂質土の削孔長(m) E=1.797 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0.1 粘性土の削孔長(m) F=3 注入本数(本)		

施工単価表

薬液注入工
M70 下流

SG1D0039001

単第0 -0033 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.091	人			
特殊作業員	0.274	人			
普通作業員	0.183	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	600.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.183	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.183	日			
削孔消耗材料費	3.530	m			単第0-0028 表
注入消耗材料費	0.600	kL			単第0-0030 表 600/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 単相方式 2セット C=3.53 砂質土の削孔長(m) E=1.8 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0 粘性土の削孔長(m) F=3 注入本数(本)		
G=2.03 土被り長(m) I=1 -			H=10 【F】注入材料各種(L)		

施工単価表

薬液注入工
M69 底盤

SG1D0039001

単第0 -0034 表

1 本 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.103	人			
特殊作業員	0.310	人			
普通作業員	0.207	人			
注入材料 溶液型無機瞬結タイプ	558.000	L			
ボーリングマシン 油圧式 5.5kW級	0.207	日			
薬液注入施工機器 薬液注入ポンプ 吐出量5~20L/min×2圧力9.8MPa	0.207	日			
削孔消耗材料費	5.070	m			単第0-0028 表
削孔消耗材料費	0.100	m			単第0-0029 表
注入消耗材料費	0.558	kL			単第0-0030 表 558/1000
諸雑費	20	%			#09
*** 単位当たり ***	1	本			
A=1 单相方式 2セット C=5.07 砂質土の削孔長(m) E=1.674 総注入量(kL)			B=0 礫質土の削孔長(m) D=0.1 粘性土の削孔長(m) F=3 注入本数(本)		

施工単価表

注入設備据付・解体工(車上)

SG1D0039004

単第0 -0035 表

頁0 -0061

1 現場 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.0	人			
特殊作業員	2.6	人			
普通作業員	3.7	人			
トラック運転 021_クレーン装置付 ベーストラック4t級 吊能力2.9t	14.5	時間			単第0-0036 表
トラック 普通型 4~4.5t積	3.600	日			2*1.8 供用日の割増率 α
諸雑費	1	式			
トラック損料(注入時)	4.912	日			単第0-0037 表
*** 単位当たり ***	1	現場			
A=17.71 総注入量(kL) C=11 1日当り施工本数(本)			B=0.59 1本当り注入量(kL/本) D=1.8 供用日の割増率 α		

施工単価表

機械投入埋戻工(バックホウ)

SG1D0002003

単第0 -0040 表

頁0 -0066

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.5	人			
普通作業員	3.8	人			
機-01_バックホウ運転 113_標準型 排2 山積0.28m3(平積0.2m3)	7.6	時間			単第0-0041 表
タンパ締固め	100	m3			単第0-0042 表
諸雑費	1	式			
1m3当り(計/100m3)					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=1 山積0.28m3			C=6 材料別途		

施工単価表

頁0 -0068

タンパ締固め

SPK22040021

単第0 -0042 表

機械構成比: 1.36% 労務構成比: 97.27% 材料構成比: 1.37% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,428.10000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>タンパ(ランマ) 質量60~80kg	1.36%		タンパ及びランマ 質量60~80kg		KTPC00020 KTPT00020
特殊作業員	51.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	45.37%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.37%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

ダンプトラック運転

SM2203010

単第0 -0044 表

011_オンロード ディーゼル

4t積級

1

日 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
運転手(一般)	1.00	人			
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	34.00	L			
ダンプトラック オンロード・ディーゼル 4t積級	1.29	供用日			
タイヤ損耗費 ダンプトラック 4 t (良)	1.29	供用日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	日			
A=1 011_オンロード ディーゼル C=1 運転労務数量(人/日) E=1.29 機械損料数量(供用日/日)			B=2 4t積級 D=34 燃料消費量(L/日) F=1 路面状況:良好		

施工単価表

頁0 -0071

軽量鋼矢板油圧圧入工

SG1D0033005

単第0 -0045 表

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.192	人			0.192*1
特殊作業員	0.192	人			0.192*1
とび工	0.192	人			0.192*1
油圧式杭圧入引抜機運転 022_エンジン式ユニット 排1 軽量鋼矢板用 圧入294/引抜力392kN(30/40t)	0.192	日			単第0-0046 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.192	日			
諸雑費	1	式			
1枚当り(計/10枚)					
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=4 圧入長(m) 5.0以下					

施工単価表

軽量鋼矢板油圧引抜工

SG1D0033006

単第0 -0047 表

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.135	人			0.135*1
特殊作業員	0.135	人			0.135*1
とび工	0.135	人			0.135*1
油圧式杭圧入引抜機運転 022_エンジン式ユニット 排1 軽量鋼矢板用 圧入294/引抜力392kN(30/40t)	0.135	日			単第0-0046 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.135	日			
諸雑費	1	式			
1枚当り(計/10枚)					
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=4 引抜き長(m) 5.0以下					

施工単価表

軽量鋼矢板油圧引抜工

SG1D0033006

単第0 -0048 表

頁0 -0074

1 枚 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.122	人			0.122*1
特殊作業員	0.122	人			0.122*1
とび工	0.122	人			0.122*1
油圧式杭圧入引抜機運転 022_エンジン式ユニット 排1 軽量鋼矢板用 圧入294/引抜力392kN(30/40t)	0.122	日			単第0-0046 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.122	日			
諸雑費	1	式			
1枚当り(計/10枚)					
*** 単位当たり ***	1	枚			
A=2 引抜き長(m) 3.0以下					

施工単価表

切梁・腹起し設置, 撤去
設置

SHD10019

単第0 -0050 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.700	人			
とび工	3.200	人			
溶接工	1.700	人			
普通作業員	1.700	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1, 2, 3次基準値)低騒音	1.700	日			
諸雑費	4	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=1 設置 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

切梁・腹起し設置, 撤去
撤去

SHD10019

単第0 -0051 表

10 t 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.000	人			
とび工	1.900	人			
溶接工	1.000	人			
普通作業員	1.000	人			
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 25t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1, 2, 3次基準値)低騒音	1.000	日			
諸雑費	6	%			#09
*** 合計 ***	10	t			
*** 単位当たり ***	1	t			
A=2 撤去 C=1 -			B=1 - D=1 ラフテレーンクレーン25t吊		

施工単価表

頁0 -0079

基礎砕石

SPK22040034

単第0 -0053 表

砕石の厚さ7.5cm以下

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 6.49%

労務構成比: 81.25%

材料構成比: 12.26%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,037.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型) 山積0.8m3(平積0.6) 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	6.45%		バックホウ クローラ型 山積0.8m3(平積0.6m3)		KTPC00018 KTPT00018
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	38.99%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	16.90%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	15.29%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	9.51%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生クラッシュラン 40~0mm	6.94%		再生クラッシュラン RC-40		TTPC00008 TTPT00008
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	5.29%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

頁0 -0081

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0054 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

バックホウ(クレーン機能付)打設

1

m3 当り

機械構成比: 4.44%

労務構成比:

37.63%

材料構成比:

57.93%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

28,884.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<貸>バックホウ(クローラ型クレーン機能付) 山積0.8m3(平積0.6)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2,3次基準値)低騒音	4.19%		バックホウ [クローラ型クレーン付] 排ガス型(第2次)山積0.8m3吊2.9t		KTPC00006 KTPT00006
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	11.11%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	10.09%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	7.32%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
運転手(特殊)	6.89%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	55.99%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	1.83%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013

施工単価表

覆工板・覆工板受桁設置撤去工
推進立坑 覆工板設置面積50m2以下

SG1D0038001

単第0 -0055 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	3.45	人			
とび工	6.90	人			
溶接工	3.45	人			
普通作業員	3.45	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.45	日			単第0-0056 表
諸雑費	9	%			#09
1m2当り					
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=1 設置		

施工単価表

頁0 -0085

覆工板・覆工板受桁設置撤去工
推進立坑 覆工板設置面積50m2以下

SG1D0038001

単第0 -0057 表

1 m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	2.10	人			
とび工	4.20	人			
溶接工	2.10	人			
普通作業員	2.10	人			
BH(クローラ型クレーン機能付)運転 山積0.45m3(平積0.35)吊能力2.9t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	2.10	日			単第0-0056 表
諸雑費	11	%			#09
1m2当り					
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=2 山積0.45m3 クレーン付2.9t吊			B=2 撤去		

施工単価表

圧入掘削積込み工
呼び径 2,000mm

SG1D0602001

単第0 -0060 表

砂質土

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.138	人			
特殊作業員	0.138	人			
普通作業員	0.277	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	0.9	時間			単第0-0061 表
機-01_ドラグライン及びクラムシエル運転 061_油圧クラムシエル テレスコピック バケット容量(平積0.4m ³)	0.474	時間			単第0-0039 表 0.9/1.9
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.138	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m			
A=2 砂質土 C=3 呼び径 2,000mm E=600 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=3 適用範囲 N≤30 D=1 揺動圧入機 F=3.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

ケーシング引上げ工
呼び径 2,000mm

SG1E0602002

単第0 -0065 表

揺動圧入機

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.62	人			
特殊作業員	0.62	人			
普通作業員	1.24	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	5.0	時間			単第0-0061 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.62	日			
諸雑費	1	式			
1m当り					
*** 単位当たり ***	1	m			
A=3 呼び径 2,000mm C=600 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 揺動圧入機 D=3.3 圧入機の燃料消費量(L/時間)		

施工単価表

底盤コンクリート打設工
呼び径 2,000mm

SG1D0603001

単第0 -0066 表

頁0 -0094

1 m3 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.26	人			
特殊作業員	0.26	人			
普通作業員	0.52	人			
生コンクリート 30N-18-20	10.4	m3			
諸雑費	2	%			#09
1m3当り					
*** 単位当たり ***	1	m3			
A=2 地下水位以下等の場合 C=1 -			B=7		水中コンクリート【登C】(m3)

施工単価表

機械設置撤去工
呼び径 2,000mm

SG1D0604001

単第0 -0067 表

1 回 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	0.17	人			
特殊作業員	0.17	人			
普通作業員	0.34	人			
機-01_圧入機運転 揺動圧入機 呼び径 2,000mm	1.4	時間			単第0-0061 表
<作>ラフテレーンクレーン(油圧伸縮ジブ型) 16t吊, オペレータ付 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.17	日			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	回			
A=3 呼び径 2,000mm C=600 圧入機損料【登録単価CODE】(時間)			B=1 D=3.3		揺動圧入機 圧入機の燃料消費量(L/時間)

施工単価表

頁0 -0105

モルタル練

SPK22040145

単第0 -0077 表

高炉

混合比1:2

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比: 62.18%

材料構成比: 37.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

45,170.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	62.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
セメント(袋) 高炉B種 25kg/袋	28.05%		セメント 高炉B 25kg袋入		TTPC00063 TTPT00063
コンクリート用砂 細目(洗い)	9.77%		砂 細目(洗い)		TTPC00066 TTPT00066
積算単価			積算単価		EP001
A=1 高炉 C=1 -(全ての費用)			B=2 混合比1:2		

施工単価表

型枠 一般型枠 機械構成比: 0.00% 労務構成比: 100.00% 鉄筋・無筋構造物 材料構成比: 0.00% 市場単価構成比: 0.00%
 SPK22040146 単第0 -0080 表 1 m2 当り 標準単価: 8,707.90000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
型わく工	47.44%		型わく工		RTPC00010 RTPT00010
普通作業員	24.80%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	9.07%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
積算単価			積算単価		EP001
A=1 一般型枠 C=1 -(全ての費用)			B=1 鉄筋・無筋構造物		

施工単価表

コンクリート

SPK22040144

単第0 -0081 表

無筋・鉄筋構造物 18-8-40BB

人力打設

1

m3 当り

機械構成比: 0.00%

労務構成比:

31.59%

材料構成比:

68.41%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

23,623.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
普通作業員	14.17%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	8.26%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	7.01%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
レディーミクストコンクリート指定品 呼び強度18,スランプ8,粗骨材40 W/C(60%),種別(高炉)	68.41%		生コンクリート 高炉 24-12-25(20) W/C 55%		TTPCD0010 TTPT00343
積算単価			積算単価		E9999
A=1 無筋・鉄筋構造物 C=2 18-8-40BB H=2 現場内小運搬無し K=1 -(全ての費用)			B=3 人力打設 F=2 一般養生 J=1 -		

施工単価表

頁0 -0110

舗装版切断

SPK22040303

単第0 -0082 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 6.20%

労務構成比:

54.85%

材料構成比:

38.95%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

565.94000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.19%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.13%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.91%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

頁0 -0112

舗装版切断(仮舗装)

SPK22040303

単第0 -0083 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1 m 当り

機械構成比: 6.20%

労務構成比:

54.85%

材料構成比:

38.95%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

565.94000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm	4.19%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径φ56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.02%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.77%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.28%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.13%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.91%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)

SPK22040018

単第0 -0084 表

機械構成比: 22.76% 労務構成比: 69.45% 材料構成比: 7.79% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,541.00000
1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	22.76%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	7.79%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

舗装版破碎積込(小規模土工)
(仮舗装)

SPK22040018

単第0 -0085 表

機械構成比: 22.76% 労務構成比: 69.45% 材料構成比: 7.79% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 1,541.00000

1 m2 当り

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3	22.76%		小型バックホウ(クローラ型) 標準型・排2 山積0.13/平積0.10m3		MTPC00077 MTPT00077
運転手(特殊)	69.45%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	7.79%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 -(全ての費用)					

施工単価表

般運搬 SPK22040142 単第0 -0086 表
 舗装版破碎 DID区間有り 運搬距離6.5km以下(5.0km超) 1 m3 当り
 機械構成比: 19.63% 労務構成比: 71.11% 材料構成比: 9.26% 市場単価構成比: 0.00% 標準単価: 4,825.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.63%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	71.11%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	9.26%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=2 DID区間有り E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=30 運搬距離6.5km以下(5.0km超)		

施工単価表

頁0 -0117

不陸整正

SPK22040225

単第0 -0087 表

補足材料無し

1

m2 当り

機械構成比:

25.46%

労務構成比:

67.79%

材料構成比:

6.75%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

113.44000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	12.56%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	9.73%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	3.17%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
運転手(特殊)	42.97%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	13.06%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	9.52%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	2.24%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	6.75%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001

施工単価表

頁0 -0119

下層路盤(車道・路肩部)

SPK22040226

単第0 -0088 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.01%

労務構成比:

15.02%

材料構成比: 79.97%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,127.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	2.03%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	1.57%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.51%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	6.94%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	2.41%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	2.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	0.67%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

下層路盤(車道・路肩部)

SPK22040226

単第0 -0088 表

全仕上り厚100mm 1層施工

RC-40

1

m2 当り

機械構成比: 5.01%

労務構成比:

15.02%

材料構成比:

79.97%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,127.00000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生クラッシュラン 40~0mm	78.64%		クラッシュラン 40~0mm [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00008 TTPT00346
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	1.09%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=100 全仕上り厚(mm) D=1 -(全ての費用)			B=4 RC-40		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):100.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0121

上層路盤(車道・路肩部)

SPK22040228

単第0 -0089 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.36%

労務構成比:

31.02%

材料構成比:

58.62%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

545.99000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.19%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.24%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.06%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.32%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.40%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK22040228

単第0 -0089 表

RM-30

全仕上り厚120mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.36%

労務構成比:

31.02%

材料構成比:

58.62%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

545.99000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	55.88%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	2.25%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 RM-30 H=1 -(全ての費用)			E=120 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):120.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0123

表層(車道・路肩部)

SPK22040235

単第0 -0090 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.94%

労務構成比:

15.24%

材料構成比:

82.82%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

1,603.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
<賃>アスファルトフィニッシャ(ホイール型) 舗装幅1.4~3.0m 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.24%		アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅1.4~3.0m		KTPC00059 KTPT00059
<賃>振動ローラ(搭乗・コンバインド式) 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.25%		振動ローラ(舗装用) [搭乗式コンバインド型] 質量3~4t		KTPC00009 KTPT00009
<賃>タイヤローラ 質量3~4t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	0.23%		タイヤローラ 質量3~4t		KTPC00057 KTPT00057
その他(機械)			その他(機械)		EK009
普通作業員	5.18%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
特殊作業員	3.55%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
運転手(特殊)	3.54%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
土木一般世話役	1.22%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK22040235

単第0 -0090 表

平均幅員1.4m以上3.0m以下

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 1.94%

労務構成比: 15.24%

材料構成比: 82.82%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,603.40000

標準単価:

1,603.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(20)	75.33%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPCD0038 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	7.19%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.27%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=3 平均幅員1.4m以上3.0m以下 C=6 再生密粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0125

表層(車道・路肩部)

SPK22040235

単第0 -0091 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.53%

労務構成比:

44.92%

材料構成比:

54.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,221.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.33%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg	0.17%		振動コンパクタ 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	22.24%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	15.55%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.59%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生粗粒度アスコン (20)	54.36%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00023 TTPT00284
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.14%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK22040235

単第0 -0091 表

平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下)

1層当り平均仕上厚30mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.53%

労務構成比:

44.92%

材料構成比:

54.55%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,221.20000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
軽油 パトロール給油, 2~4KL積載車給油	0.04%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=8 再生粗粒度アスファルト混合物(20) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=30 1層当り平均仕上り厚(mm) E=5 瀝青材料無し H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

報告書作成工

V0310

単第0 -0101 表

頁0 -0136

1 m 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
測量主任技師 (外業) 管理技師	1.0	人			
測量技師 (外業) 管路調査技師	1.0	人			
測量技師補 (外業) 管路調査助手	1.0	人			
DVD	1	枚			
写真代	1	式			
雑材料	10	%			#01
1m当り		m			
*** 単位当たり ***	1	m			

三原西处理分区污水管新設工事（4-1工区）

推 進 数 量 計 算 書

4898, 4897

高耐荷力推進工法泥土圧式

推 進 工 (HP φ 250mm) 集 計 表

M13~M70

【補助】

高耐荷力・泥土圧式(先導体駆動方式)			
種 別	細 目	単 位	数 量
路線延長	HP φ 250mm	m	72.00
推進延長	HP φ 250mm	m	70.00
管体延長	HP φ 250mm	m	71.10
管布設延長	HP φ 250mm	m	1.10
推進用管 50N/mm ² (1種管)	L=1.00m カラー有り	本	72
推進工	地上設置プラント 推進工 日進量: 6.0 m/日	m	
	車上設置プラント 補正日進量: 0.0 m/日	m	70.00
発生土処分工	日当り量: 0.87 m ³ /日	m	
	全体量:	m ³	10.2
スクリュコンベヤ類撤去工	HP φ 250mm 撤去 日進量: 40.0 m/日	m	70.00

注 入 工 (HP φ 250mm) 集 計 表

【補助】

高耐荷力・泥土圧式			
種 別	細 目	単 位	数 量
滑材注入工	滑材: 0.024 kL/m	m	70.00
掘削添加材注入工	掘削添加材(KM-5): 0.21 kg/m	m	70.00

推進工 (HP φ 250mm) 数量算定表 (1/2)

高耐荷力・泥土圧式(先導体駆動方式)						【補助】					
種 別	細 目	算 定 式				単位	数 量				
路線延長	HP φ 250mm	L=	72.00 m	+	m	+	m	=	72.00 m	m	72.00
推進延長	M13~M70	L1=	72.00 m	-	1.00 m	-	1.00 m	=	70.00 m		
推進管:HP φ 250mm		L2=	m	-	m	-	m	=	m		
		L3=	m	-	m	-	m	=	m		
		L4=	m	-	m	-	m	=	m		
									ΣL= 70.00 m	m	70.00
管体延長	M13~M70	L1=	72.00 m	-	0.45 m	-	0.45 m	=	71.10 m		
推進管:HP φ 250mm		L2=	m	-	m	-	m	=	m		
		L3=	m	-	m	-	m	=	m		
		L4=	m	-	m	-	m	=	m		
スリムアーク工法									ΣL= 71.10 m	m	71.10
管布設延長	HP φ 250mm	L=	71.10 m	-	70.00 m			=	1.10 m	m	1.10
推進用管 50N/mm2(1種管)	L=1.00m カラー有り	n=	71.10 m	÷	1.00 m			=	71.10 本		72
	50N/mm2(1種管)	L=1.00m カラー有り	n=	m	÷	m		=	本		
	50N/mm2(1種管)	L=1.00m カラー有り	n=	m	÷	m		=	本		
									ΣN= 本	本	72

推進工 (HPφ250mm) 数量算定表 (2/2)

高耐荷力・泥土圧式(先導体駆動方式)				【補助】	
種 別	細 目	算 定 式	単 位	数 量	
		スリムアーク設計・積算資料2020年-P.18			
推進工	土質:礫玉石混じり土	※ 協会土質区分:礫玉石混じり土[A]	推進 日進量: 6.0 m/日	m	70.00
	定置プラント				
発生土処分工		$V' = 0.145 \text{ m}^2 \times 6.0 \text{ m/日}$	$= 0.870 \text{ m}^3/\text{日}$	m	70.00
		$V = 0.145 \text{ m}^2 \times 70.00 \text{ m}$	$= 10.15 \text{ m}^3$	m ³	10.15
	参考資料	2018年 推進工法用設計積算要領 小口径管推進工法 高耐荷力管推進工法編(日推協)			
		P.294 発生土量= $(\pi/4) \times (\text{先導体外径})^2 \times \text{推進延長} \times \alpha$ より			
		$V = \pi/4 \times (0.400)^2 \times 1.15 = 0.145 \text{ m}^2$			
		α : 砂質土(1.1~1.25)平均値 1.15			
		2018年 推進工法用設計積算要領 小口径管推進工法 高耐荷力管推進工法編(日推協)P.298			
スクリュコンベヤ類撤去工	HPφ250mm		撤去 日進量: 40 m/日	m	70.00

仮設備工（HPφ250mm）数量算定表

高耐荷力・泥土圧式1工程			【補助】	
種 別	細 目	算 定 式	単 位	数 量
発進坑口工	HP φ 250mm		箇所	1
到達坑口工	HP φ 250mm		箇所	1
通過立坑坑口工	HP φ 250mm		箇所	2
	参考資料	2018年 推進工法用設計積算要領 小口径管推進工法 高耐荷力推進工法編(日推協) P310 鏡切延長		
発進鏡切り工	HP φ 250mm	小型立坑 2.4 m/箇所	箇所	1
到達鏡切り工	HP φ 250mm	小型立坑 2.4 m/箇所	箇所	1
通過立坑鏡切り工	HP φ 250mm	軽量鋼矢板 2.0 m/箇所	箇所	2
推進用機器据付撤去工	分割据付		箇所	1
先導体搬出工(分割回収)	HP φ 250mm		台	1

掘削添加材の必要量

掘削添加材注入工計算条件 (既往Bor. No. 2 (S. 63を参考))

通過百分率 P0.075	15.0	%
P0.25	32.5	%
P2.0	50.0	%
飽和吸水倍率：α	1.00	
U _c による補正係数：β	1.00	
注入損失係数：γ	1.55	
地盤区分	有水地盤	

U	5.00	kg/m ³
P		kg/m ³
Q	0.18	
V	2.97	m ³
G	14.85	kg
1 m当り	0.21	kg/m

【配合計画】 有水地盤 $U = (1/3) \times (30 - P_{0.075}) \times \alpha \times \beta$

無水地盤 $U = P \times \alpha \times \beta$

U : 水 1 m³当りの掘削添加材の使用量 (kg/m³)

P_{0.075} : 0.075mm粒径通過百分率 (30%以上は30とする)

α : 地下水質による補正係数

有水地盤の α 300 (g/g) / 当該地下水質での飽和吸水倍率 (g/g)

飽和吸水倍率 : 水道水 300~400 (g/g)

地下水 300 (g/g)

海水 50 (g/g)

スリムアーク工法

無水地盤の α 300 (g/g) / 300 (g/g) = 1

β : 均等係数U_cによる補正係数 U_c = 84.3

1 ≤ U _c < 3	3 ≤ U _c < 4	4 ≤ U _c
1.1	1.05	1.0

P : 濃度 2.0~2.5 (kg/m³)

【注入計画】 $Q = \{(30 - P_{0.075}) + (40 - P_{0.25}) + (50 - P_{2.0})\} \times (4/5) \times (1/100)$

Q : 地山土量 1 m³当りの掘削添加材の溶液注入係数

P_{0.075} : 0.075mm粒径通過百分率 (30%以上は30とする)

P_{0.25} : 0.25mm粒径通過百分率 (40%以上は40とする)

P_{2.0} : 2.0mm粒径通過百分率 (50%以上は50とする)

【溶液注入量】 $V = S \times L \times Q \times \gamma$

V : 掘削添加材溶液の注入量 (m³)

S : 切羽断面積 (m²)

$$S = \pi / 4 \times (\text{先導体外径} + \text{余掘量} \times 2)^2$$

先導体外径: 0.400 m 余掘量: 0.02 m

L : 推進延長 = 70.00 m

Q : 地山土量 1 m³当りの掘削添加材の溶液注入係数

γ : 注入損失係数 1.55 (1.5~1.8)

【掘削添加材必要量】 $G = U \times V$

G : 掘削添加材必要量 (kg)

U : 水 1 m³当りの掘削添加材の使用量 (kg/m³)

V : 掘削添加材溶液の注入量 (m³)

マンホール工

§ 1号組立マンホール工集計表

項 目	M13	M69					単位	合 計
種 別	細 目	1号組立	1号組立					
マンホール 設置工	1号組立	1	1				個所	2
	2号組立							
人 孔 鉄 蓋 転落防止梯子	φ 600 受枠共	T-14					組	
		T-25	1	1			組	2
調整金具	φ 600	h=25	1				個	1
		h=45		1			個	1
調 整 リ ン グ	φ 600	h=50					個	
		h=100	2	2			個	4
		h=150					個	
							個	
1号斜壁ブロック	φ 600*φ 900*300	1					個	1
	φ 600*φ 900*450		1				個	1
	φ 600*φ 900*600						個	
1号踊り場ブロック	φ 900*300					個		
1号直壁ブロック (I)	φ 900*300						個	
	φ 900*600	1	1				個	2
	φ 900*900						個	
	φ 900*1200						個	
	φ 900*1500						個	
	φ 900*1800	1					個	1
1号躯体ブロック (I)	φ 900*900						個	
	φ 900*1200						個	
	φ 900*1500						個	
	φ 900*1800	1	1				個	2
1号躯体ブロック (II)	φ 900*900						個	
	φ 900*1200						個	
1号底版	φ 900	1	1			個	2	
削 孔 工	HP φ 250	1	1				個	2
	VU φ 250						個	
	VU φ 200	1						1
インバート工	1号	1	1				箇所	2
FRP製中間スラブ	1号用						個	
可とう継ぎ手	HP φ 250	1	2				個	3
	VU φ 250	1						1
	VU φ 200	1						1
調整コンクリート	18N-8-40	0.42					m ³	0.42
副管設置工	VU φ 200							
	可とう支管継手	1					個	1
	プレーンエンド直管	1.395					m	1.395
	90° 曲管	1					個	1
	防護コンクリート	0.17					m ³	0.17
	同上型枠	0.93					m ²	0.93
	副管設置 1.5m<2.0	1					箇所	1

【M13 1号組立人孔】

項 目		計 算 式			単 位	数 量
種 別	細 目					
マンホール設置工 上 部 工	1号	マンホール深 H = 4.671 m	N =		1 箇所	1
	人孔鉄蓋	T-25 φ 600 (受枠共・転落防止梯子付)	N =		1 組	1
	調整金具	H = 25 mm (0) H = 45 mm	N = N =		1 箇所 箇所	1
	調整リング	H = 50 mm H = 100 mm H = 150 mm	N = N = N =		個 個 個	2
	斜壁ブロック	1号 φ 600 * φ 900 * 300H φ 600 * φ 900 * 450H φ 600 * φ 900 * 600H	N = N = N =		1 個 個 個	1
	おとり場直壁	1号 H = 600	N =		個	
	直壁ブロック (I種)	1号 H = 300 H = 600 H = 900 H = 1200 H = 1500 H = 1800	N = N = N = N = N = N =		個 個 個 個 個 個	1
	躯体ブロック (I種)	1号 H = 900 H = 1200 H = 1500 H = 1800	N = N = N = N =		個 個 個 個	1
	底版ブロック (I種)	1号 H = 130	N =		1 個	1
	削孔工	HP φ 250用 VU φ 250用 VU φ 200用	N = N = N =	N = N = N =		1 箇所 箇所 箇所
インバート工	1号	N =	N =		1 箇所	1
FRP製中間スラブ	1号用	N =	N =		個	
可とう継ぎ手	HP φ 250 VU φ 250 VU φ 200	N = N = N =	N = N = N =		1 個 1 個 1 個	1 1 1
調整コンクリート	18N-8-40	$V = \pi/4 \times 2.000^2 \times 0.135$	V =	0.42	m3	0.42

【M69 1号組立人孔】

項 目		計 算 式			単 位	数 量
種 別	細 目					
マンホール設置工 上 部 工	1号	マンホール深 H = 2.943 m	N =		1 箇所	1
	人孔鉄蓋	T-25 φ 600 (受枠共・転落防止梯子付)	N =		1 組	1
	調整金具	H = 25 mm (0) H = 45 mm	N = N =		箇所 箇所	1
	調整リング	H = 50 mm H = 100 mm H = 150 mm	N = N = N =		個 個 個	2
	斜壁ブロック	1号 φ 600 * φ 900 * 300H φ 600 * φ 900 * 450H φ 600 * φ 900 * 600H	N = N = N =		個 個 個	1
	おとり場直壁	1号 H = 600	N =		個	
	直壁ブロック (I種)	1号 H = 300 H = 600 H = 900 H = 1200 H = 1500 H = 1800	N = N = N = N = N = N =		個 個 個 個 個 個	1
	躯体ブロック (I種)	1号 H = 900 H = 1200 H = 1500 H = 1800	N = N = N = N =		個 個 個 個	1
	底版ブロック (I種)	1号 H = 130	N =		1 個	1
	削孔工	HP φ 250用 VU φ 200用	N = N =	N = N =	1 箇所 箇所	1
インバート工	1号	N =	N =	1 箇所	1	
FRP製中間スラブ	1号用	N =	N =	個		
可とう継ぎ手	HP φ 250 VU φ 200用	N = 2 N =	N = N =	2 個 個	2	

立坑築造工 ϕ 2000

工 種 鋼製ケーシング築造工 立坑No. M70		φ 2000		算出値		数 量	
工 種 名	仕 様	計 算 式 及 び 略 図 等		+	-		
圧入掘削積込み工	φ 2000 粘性土 N>5 砂質土 N≤30 礫質土 N≤30 礫質土 N>30	L = 4.66 m ※H29下水道用設計標準歩掛P440	=	4.66		4.66	m
		1m当り標準施工時間a=0.8h/m 1= 0.00 m					
		1m当り標準施工時間a=0.9h/m 1= 4.66 m					
		1m当り標準施工時間a=1.0h/m 1= 0.00 m					
		1m当り標準施工時間a=1.0h/m 1= m					
ケーシング溶接工	φ 2000 t = 12mm	L = 6.30 m (1箇所当り) ※H29下水道用設計標準歩掛P441	=				1 箇所
		n = 1 箇所					
ケーシング引き上げ工	φ 2000	L = 0.90 m	=			0.9	m
スクラップ	ケーシング撤去部	W2 = π/4 × (0.36+0.2)^2 × 94.2kg/m2	=	23		0.023	
		W3 = π/4 × (0.36+0.2)^2 × 94.2kg/m2	=	23		0.023	
			=				
底盤コンクリート打設工	φ 2000	V = 3.1 m3	=			0.05 t	
		※H29下水道用設計標準歩掛P444				3.1 m3	
機械設置撤去工		n = 1 回	=			1 回	
機械退避・再設置工		n = 0 回	=			0 回	
機 械 運 搬 工	往路・復路	n = 1 回	=			1 回	

工 種 鋼製ケーシング築造工 立坑No. M70			φ 2000		算出値		数 量	
工 種 名	仕 様	計 算 式 及 び 略 図 等		+	-			
(土 留 め 材) 先頭ケーシング	φ 2,000 t = 12 mm	L = 2.400 × 1本 = 2.40 (m)	=	2.40				
中間ケーシング	φ 2,000 t = 12 mm	L = 0.000 × 0本 = 0.00 (m)	=					
最終ケーシング	φ 2,000 t = 12 mm	L = 1.600 × 1本 = 1.60 (m)	=	1.60				
仮設ケーシング	φ 2,000 t = 12 mm	L = 2.000 × 1本 = 2.00 (m)	=	2.00				
ケーシング全長	φ 2,000 t = 12 mm	(全 損) L = 2.40 + 0.00 + 1.60 = 4.00 (m)	=				4.00 m	
先端ケーシング	直刃 φ 2000	n = 1 式	=					1 式
仮設ケーシング損料	φ 2,000 t = 12 mm	L = 2.000 (m) × 1(本分) (1 箇所当り)	=					1 式
うわ水排水工	φ 2000		=					1 箇所
スライム処分費	φ 2000 汚泥吸排車	V = 1.2 m ³ (1箇所当り) ※H29下水道用設計標準歩掛P448	=					1 式
路 面 覆 工	(賃 料)	φ 2,000用 路面設置型						
	覆工板設置工		=					1 式
	覆工板開閉工	必要に応じて計上	=					0 回
	覆工板撤去工		=					1 式

工 種 鋼製ケーシング築造工 立坑No. M70			φ 2000		算出値		数 量		
工 種 名	仕 様	計 算 式 及 び 略 図 等			+	-			
埋戻し工	発生土	掘削 1.0m当り土量 $v = 3.14 \text{ m}^3$ $V = (3.71 - 0.25) \times 3.14 = 10.85 \text{ m}^3$			=	10.85			
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
残土処分工		$V = 14.46 - 10.8 / 0.9 = 2.46 \text{ m}^3$			=	2.46			
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					=				
					+10.85	-0.00	+10.8	m3	
					0.00				
					+10.85	-0.00	+10.8	m3	
					2.46		2.5	m3	

軽量鋼矢板立坑築造工1665×1665

軽量鋼矢板立坑

数量計算集計表

工種	種別	単位	M69 通過立坑				合計
(1) 土工							
掘削工	BH0. 28m3	m3	10.9				10.9
機械埋戻工	発生土 BH0. 28m3	m3	5.9				5.9
発生土処分工		m3	4.3				4.3
(2) 立坑基礎工							
基礎コンクリート	18N-8-40	m3	0.42				0.42
砕石基礎	RC-40	m2	2.77				2.77
(3) 土留工							
軽量鋼矢板圧入工	軽量鋼矢板3B型 H=5.00m	枚	20				20
軽量鋼矢板引抜工1	H=5.00m	枚	14				14
軽量鋼矢板引抜工2	H=2.30m	枚	6				6
軽量鋼矢板賃料	3B型	t	2.20				2.20
スクラップ		t	0.03				0.03
スクラップ(L=2.3m)		t	0.30				0.30
スクラップ(L=2.7m)		t	0.00				0.00
全損		t	0.65				0.65
鋼製支保工	腹起材 2段	t	0.58				0.58
支保材賃料	主部材	t	0.73				0.73
軽量鋼矢板切断	3B型	m	2.0				2.0
(4) 路面覆工							
覆工板・覆工板受桁 設置撤去工	角形	m2	4.0				4.0
覆工重量		t	1.32				1.32
砕石基礎工	t=10cm RC-40	m2	0.8				0.8

M69 通過立坑

数量計算				(1/3)
				(当り数量)
工種	種別	算 式		計
(1) 土工				
掘削工	布堀り部	掘削面積 A= 2.16 × 2.21 = 4.77 m ²		
		掘削底面GL- 0.50 m 舗装厚 = 0.05 m V= 4.77 × (0.50 - 0.05) = 2.15 m ³		
	土留め部	掘削面積 A= 1.665 × 1.665 = 2.77 m ²		
		掘削底面GL- 3.67 m 布堀り厚 = 0.50 m V= 2.77 × (3.67 - 0.50) = 8.78 m ³		
		2.15 + 8.78 = 10.93 m ³		10.9 m ³
機械埋戻工	発生土 BH0.28m ³	土留め部埋戻厚 3.17 m V= 2.77 × 3.17 = 8.78 m ³		
		布堀り部埋戻厚 0.25 m V= 4.77 × 0.25 = 1.19 m ³		
		【控除】基礎厚 0.35 m V= 2.77 × 0.35 = 0.97 m ³		
		【控除】推進管 0.38 m V= 0.10 × 0.38 × 2 = 0.08 m ³		
		【控除】1号人孔外径 1.05 m →断面積 V= 0.87 × 3.42 = 2.98 m ³		
		埋戻土量 8.78 + 1.19 - 0.97 - 0.08 - 2.98 = 5.94		5.9 m ³
発生土処分工		V= 2.15 + 8.78		
		- 5.94 / 0.9 = 4.33 m ³		4.3 m ³
(2) 立坑基礎工				
コンクリート	18N-8-40 t=15m	V= 2.77 × 0.15 = 0.42 m ³		0.42 m ³
碎石基礎	RC-40 t=20cm	A= 2.77 = 2.77 m ²		2.77 m ²
(3) 土留工				
軽量鋼矢板	圧入工	軽量鋼矢板3B型 矢板長 L= 5.00 m		
		圧入長 L= 5.00 m		
		枚数N= (1.665+1.665) × 2 ÷ 0.333 = 20 枚		20 枚
	引抜工1	矢板長 L= 5.00 m		
		引抜長 L= 5.00 m		
		3方向 枚数N= 20 - 6 = 14 枚		14 枚

M69 通過立坑

		数量計算		(2/3)	
				(当り数量)	
工種	種別	算式		計	
	引抜工2	矢板長 L= 2.30 m	∴構造図から		
		引抜長 L= 2.30 m			
		上下流方向 枚数N= 3 × 2 +	= 6 枚		6 枚
	総重量	(搬入) 5.00 × 20 ×	t/m 0.0216 = 2.160 t		2.20 t
		(搬出) 5.00 × 14 ×	t/m 0.0216		
		2.30 × 6 ×	t/m 0.0216 = 1.810 t		1.81 t
	スクラップ	鋼管外径+200 W= π/4 × 0.556 ² ×	t/m ² 0.0648		
		× 2	= 0.031 t		0.03 t
	スクラップ (L=2.3m)	W= 2.30 × 6 ×	t/m 0.0216 = 0.30 t		0.30 t
	残地 (L=2.7m)	W= 2.70 × 6 ×	0.0216 = 0.35 t		0.35 t
	全損	W= 5.00 × 6 ×	0.0216 = 0.648 t		0.65 t 0.65 t
鋼製支保工	腹起し 2段	H-200×200×8×12 (加工材) W= (1.517 + 1.117) × 2			
		× 0.055 × 2	t/m 段 = 0.579 t		0.58 t
	主部材	W=	= 0.579 t		0.58 t
	副部材A	W= 0.579 × 0.22	= 0.127 t		0.13 t
	副部材B	W= 0.579 × 0.04	= 0.023 t		0.02 t
	総重量	W= 0.579 + 0.127 + 0.023	= 0.729 t		0.73 t
	軽量鋼 矢板切断	LSP-3B 枚 L= 0.333 × 3 ×	上下流 2 = 2.00 m		2.0 m

補助工法

薬液注入工

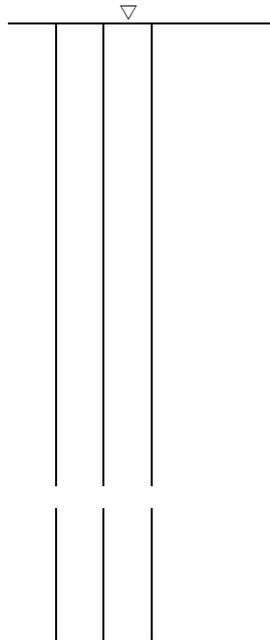
二重管ストレーナ工法

单相方式

(下水道標準歩掛りによる。)

1. 条件 M13 上

到達立坑 上流側



土質	平均N値	削孔長 L0 (m/本)	注入長 L1 (m/本)	土被長 L2 (m)	改良条件		
					幅 (m)	長 (m)	面積 (m ²)
粘性土	1.3	0.65	0.65		1.50	2.00	3.00
砂質土	2.6	2.91	0.85				
礫質土							
計		3.56	1.50	2.06	注入本数(本)		3

2. 注入率 (单相方式)

土質	N 値		間隙率 ρ (%)	溶液形		懸濁形	
	ゆるい	中位		充填率 α (%)	注入率 (%)	充てん率 α (%)	注入率 (%)
粘性土	ゆるい	0~4	70	55	38.5	50	35.0
	中位	4~8	60	50	30.0	45	27.0
	締った	8~15	50	30	15.0	25	12.5
砂質土	ゆるい	0~10	50	80	40.0	70	35.0
	中位	10~30	40	80	32.0	70	28.0
	締った	30以上	30	70	21.0	60	18.0
礫質土	ゆるい	10~30	50	80	40.0	70	35.0
	中位	30~50	35	80	28.0	70	24.5
	締った	50以上	25	80	20.0	70	17.5

Bor. No.	0				平均値
間隙比 e					

間隙率 $P = e / (1 + e) \times 100 =$ %
 注入充てん率 $\alpha =$ %

3. 1本当り注入量

土質	平均N値	間隙率 (%)	1本当り 対象土量 (m ³)	充てん率 α (%)		注入量 Qs (L)	
				溶液形	懸濁形	溶液形	懸濁形
粘性土	1.3	70	0.650	55		250	
砂質土	2.6	50	0.850	80		340	
礫質土							
計	1本当り 箇所当り		1.500			590	
						1770	

4. 1日当り注入量

- 1) 準備時間 T1 = = 14.00
 - 2) 削孔時間 T2 = Σ (γ1 × L0) = 17.15
 - 3) 注入時間 T3 = Qs / qs = 32.78
 - 4) 土被引抜時間 T4 = γ2 × L2 = 4.12
- 引抜単位作業時間 γ2 = 2.0 分/m

1本当り施工時間 Ts = 68.05 分/本

表. 削孔の単位作業時間(分/m)

土質	礫質土	砂質土	粘性土
γ1	8.0	5.0	4.0

表. 単位時間当り注入量(L/分)

工法名	单相方式	複相方式
qs	18	16

5. 1日当り施工本数

$N = (60 \times H) / Ts \times 2$ (セツト) = **11.1** 本/日

実作業時間 H = 6.3 時間

薬液注入工

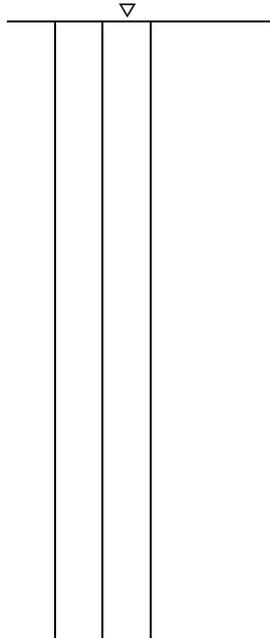
二重管ストレーナ工法

単相方式

(下水道標準歩掛りによる。)

1. 条件 M69下

通過立坑 下流側



土質	平均N値	削孔長 L0 (m/本)	注入長 L1 (m/本)	土被長 L2 (m)	改良条件		
					幅 (m)	長 (m)	面積 (m ²)
粘性土	1.3	0.10	0.10		1.50	2.00	3.00
砂質土	2.6	3.40	1.40				
礫質土							
計		3.50	1.50	2.00	注入本数(本)		3

2. 注入率 (単相方式)

土質	N 値	間隙率 ρ (%)	溶液形		懸濁形		
			充填率 α (%)	注入率 (%)	充てん率 α (%)	注入率 (%)	
粘性土	ゆるい	0~4	70	55	38.5	50	35.0
	中位	4~8	60	50	30.0	45	27.0
	締った	8~15	50	30	15.0	25	12.5
砂質土	ゆるい	0~10	50	80	40.0	70	35.0
	中位	10~30	40	80	32.0	70	28.0
	締った	30以上	30	70	21.0	60	18.0
礫質土	ゆるい	10~30	50	80	40.0	70	35.0
	中位	30~50	35	80	28.0	70	24.5
	締った	50以上	25	80	20.0	70	17.5

Bor. No.	0				平均値
間隙比 e					

間隙率 $P = e / (1 + e) \times 100 =$ %
 注入充てん率 $\alpha =$ %

3. 1本当り注入量

土質	平均N値	間隙率 (%)	1本当り 対象土量 (m ³)	充てん率 α (%)		注入量 Qs (L)	
				溶液形	懸濁形	溶液形	懸濁形
粘性土	1.3	70	0.100	55		39	
砂質土	2.6	50	1.400	80		560	
礫質土							
計	1本当り 箇所当り		1.500			599	
			---			1797	

4. 1日当り注入量

- 1) 準備時間 T1 = = 14.00
 - 2) 削孔時間 T2 = $\sum (\gamma 1 \times L0)$ = 17.40
 - 3) 注入時間 T3 = Qs / qs = 33.28
 - 4) 土被引抜時間 T4 = $\gamma 2 \times L2$ = 4.00
- 引抜単位作業時間 $\gamma 2 =$ 2.0 分/m

1本当り施工時間 Ts = 68.68 分/本

表. 削孔の単位作業時間(分/m)

土質	礫質土	砂質土	粘性土
$\gamma 1$	8.0	5.0	4.0

表. 単位時間当り注入量(l/分)

工法名	単相方式	複相方式
qs	18	16

5. 1日当り施工本数

$N = (60 \times H) / Ts \times$ 2 (セット) = 11.0 本/日

実作業時間 H = 6.3 時間

薬液注入工

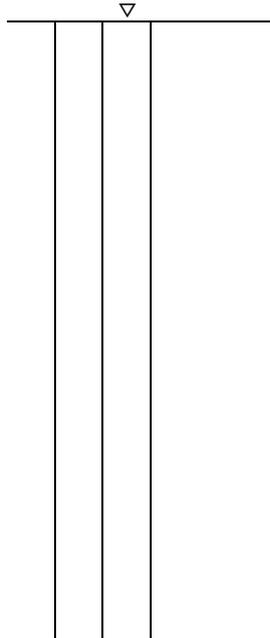
二重管ストレーナ工法

単相方式

(下水道標準歩掛りによる。)

1. 条件 M69上

通過立坑 上流側



土質	平均N値	削孔長 L0 (m/本)	注入長 L1 (m/本)	土被長 L2 (m)	改良条件		
					幅 (m)	長 (m)	面積 (m ²)
粘性土	1.3	0.10	0.10		1.50	2.00	3.00
砂質土	2.6	3.40	1.40				
礫質土							
計		3.50	1.50	2.00	注入本数(本)		3

2. 注入率 (単相方式)

土質	N 値	間隙率 ρ (%)	溶液形		懸濁形		
			充填率 α (%)	注入率 (%)	充てん率 α (%)	注入率 (%)	
粘性土	ゆるい	0~4	70	55	38.5	50	35.0
	中位	4~8	60	50	30.0	45	27.0
	締った	8~15	50	30	15.0	25	12.5
砂質土	ゆるい	0~10	50	80	40.0	70	35.0
	中位	10~30	40	80	32.0	70	28.0
	締った	30以上	30	70	21.0	60	18.0
礫質土	ゆるい	10~30	50	80	40.0	70	35.0
	中位	30~50	35	80	28.0	70	24.5
	締った	50以上	25	80	20.0	70	17.5

Bor. No.	0				平均値
間隙比 e					

間隙率 $P = e / (1 + e) \times 100 =$ %
 注入充てん率 $\alpha =$ %

3. 1本当り注入量

土質	平均N値	間隙率 (%)	1本当り 対象土量 (m ³)	充てん率 α (%)		注入量 Qs (L)	
				溶液形	懸濁形	溶液形	懸濁形
粘性土	1.3	70	0.100	55		39	
砂質土	2.6	50	1.400	80		560	
礫質土							
計	1本当り 箇所当り		1.500			599	
			---			1797	

4. 1日当り注入量

- 1) 準備時間 T1 = = 14.00
 - 2) 削孔時間 T2 = $\sum (\gamma 1 \times L0)$ = 17.40
 - 3) 注入時間 T3 = Qs / qs = 33.28
 - 4) 土被引抜時間 T4 = $\gamma 2 \times L2$ = 4.00
- 引抜単位作業時間 $\gamma 2 =$ 2.0 分/m

1本当り施工時間 Ts = 68.68 分/本

表. 削孔の単位作業時間(分/m)

土質	礫質土	砂質土	粘性土
$\gamma 1$	8.0	5.0	4.0

表. 単位時間当り注入量(l/分)

工法名	単相方式	複相方式
qs	18	16

5. 1日当り施工本数

$N = (60 \times H) / Ts \times$ 2 (セット) = 11.0 本/日

実作業時間 H = 6.3 時間

薬液注入工

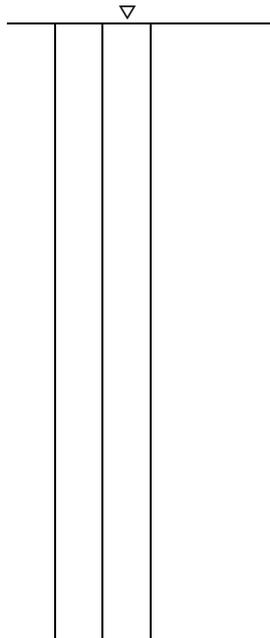
二重管ストレーナ工法

単相方式

(下水道標準歩掛りによる。)

1. 条件 M70下

発進立坑 下流側



土質	平均N値	削孔長 L0 (m/本)	注入長 L1 (m/本)	土被長 L2 (m)	改良条件		
					幅 (m)	長 (m)	面積 (m ²)
粘性土	2.6	3.53	1.50		1.50	2.00	3.00
砂質土							
礫質土							
計		3.53	1.50	2.03	注入本数(本)		3

2. 注入率 (単相方式)

土質	N 値	間隙率 ρ (%)	溶液形		懸濁形		
			充填率 α (%)	注入率 (%)	充てん率 α (%)	注入率 (%)	
粘性土	ゆるい	0~4	70	55	38.5	50	35.0
	中位	4~8	60	50	30.0	45	27.0
	締った	8~15	50	30	15.0	25	12.5
砂質土	ゆるい	0~10	50	80	40.0	70	35.0
	中位	10~30	40	80	32.0	70	28.0
	締った	30以上	30	70	21.0	60	18.0
礫質土	ゆるい	10~30	50	80	40.0	70	35.0
	中位	30~50	35	80	28.0	70	24.5
	締った	50以上	25	80	20.0	70	17.5

Bor. No.	0				平均値
間隙比 e					

間隙率 $P = e / (1 + e) \times 100 =$ %
 注入充てん率 $\alpha =$ %

3. 1本当り注入量

土質	平均N値	間隙率 (%)	1本当り 対象土量 (m ³)	充てん率 α (%)		注入量 Qs (L)	
				溶液形	懸濁形	溶液形	懸濁形
粘性土	2.6	50	1.500	80		600	
砂質土							
礫質土							
計	1本当り 箇所当り		1.500			600	1800

4. 1日当り注入量

- 1) 準備時間 T1 = 14.00
 - 2) 削孔時間 T2 = $\sum (\gamma 1 \times L0)$ = 17.65
 - 3) 注入時間 T3 = Qs / qs = 33.33
 - 4) 土被引抜時間 T4 = $\gamma 2 \times L2$ = 4.06
- 引抜単位作業時間 $\gamma 2 = 2.0$ 分/m

1本当り施工時間 Ts = 69.04 分/本

表. 削孔の単位作業時間(分/m)

土質	礫質土	砂質土	粘性土
$\gamma 1$	8.0	5.0	4.0

表. 単位時間当り注入量(l/分)

工法名	単相方式	複相方式
qs	18	16

5. 1日当り施工本数

$N = (60 \times H) / Ts \times 2$ (セット) = 11.0 本/日

実作業時間 H = 6.3 時間

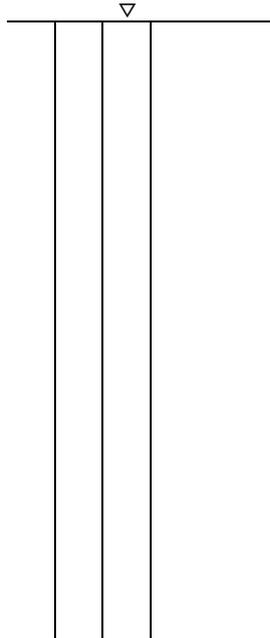
薬液注入工

二重管ストレーナ工法

単相方式

(下水道標準歩掛りによる。)

1. 条件 M69底盤 通過立坑 底盤



土質	平均N値	削孔長 L0 (m/本)	注入長 L1 (m/本)	土被長 L2 (m)	改良条件		
					幅 (m)	長 (m)	面積 (m ²)
粘性土		0.10					
砂質土	2.6	5.07	1.50		1.67	1.67	2.79
礫質土							
計		5.17	1.50	3.67	注入本数(本)		3

2. 注入率 (単相方式)

土質	N 値	間隙率 ρ (%)	溶液形		懸濁形		
			充填率 α (%)	注入率 (%)	充てん率 α (%)	注入率 (%)	
粘性土	ゆるい	0~4	70	55	38.5	50	35.0
	中位	4~8	60	50	30.0	45	27.0
	締った	8~15	50	30	15.0	25	12.5
砂質土	ゆるい	0~10	50	80	40.0	70	35.0
	中位	10~30	40	80	32.0	70	28.0
	締った	30以上	30	70	21.0	60	18.0
礫質土	ゆるい	10~30	50	80	40.0	70	35.0
	中位	30~50	35	80	28.0	70	24.5
	締った	50以上	25	80	20.0	70	17.5

Bor. No.	0				平均値
間隙比 e					

間隙率 $P = e / (1 + e) \times 100 =$ %
 注入充てん率 $\alpha =$ %

3. 1本当り注入量

土質	平均N値	間隙率 (%)	1本当り 対象土量 (m ³)	充てん率 α (%)		注入量 Qs (L)	
				溶液形	懸濁形	溶液形	懸濁形
粘性土							
砂質土	2.6	50	1.395	80		558	
礫質土							
計	1本当り 箇所当り		1.395			558	
						1674	

4. 1日当り注入量

- 1) 準備時間 T1 = = 14.00
 - 2) 削孔時間 T2 = $\sum (\gamma 1 \times L0)$ = 25.75
 - 3) 注入時間 T3 = Qs / qs = 31.00
 - 4) 土被引抜時間 T4 = $\gamma 2 \times L2$ = 7.34
- 引抜単位作業時間 $\gamma 2 =$ 2.0 分/m

1本当り施工時間 Ts = 78.09 分/本

表. 削孔の単位作業時間(分/m)

土質	礫質土	砂質土	粘性土
$\gamma 1$	8.0	5.0	4.0

表. 単位時間当り注入量(l/分)

工法名	単相方式	複相方式
qs	18	16

5. 1日当り施工本数

$N = (60 \times H) / Ts \times$ 2 (セット) = 9.7 本/日

実作業時間 H = 6.3 時間

舖 装 工

工区 M 13 立坑 舗装復旧工 (市道車道) As-5-10-10				箇所	算 出 値		計
名 称	仕 様	位 置	略 図 ・ 計 算 式 等		+	-	
既設舗装版取壊し工							
舗装切断	アスファルト	t=15cm以下	L=2.10×4	=	8.40		8.4 m
舗装取壊し	BH0.45m3	t=15cm以下	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2
Asガラ処分		t=5cm	V=2.10×2.10×0.05	=	0.22		0.2 m3
仮復旧工							
上層路盤工(RM-30)	t=12cm	t=12cm	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2
下層路盤工(RC-40)	t=10cm	t=10cm	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2
仮舗装工	t=3cm	t=3cm	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2
本復旧工							
舗装切断	舗装As	t=15cm以下	L=2.70×4	=	10.80		10.8 m
舗装取壊し	BH0.45m3	t=15cm以下	A=2.70×2.70	=	7.29		7.3 m2
Asガラ処分	既設舗装分	t=5cm	V=(7.29-4.41)×0.05	=	0.14		0.1 m3
Asガラ処分	仮舗装工	t=3cm	V=2.10×2.10×0.03	=	0.13		0.1 m3
表層工	再生粗粒度アスコソ20	t=5cm	A=2.70×2.70	=	7.29		7.3 m2

工区 M 69 立坑 舗装復旧工 (市道車道) As-5-10-10				箇所	算 出 値		計
名 称	仕 様	位 置	略 図 ・ 計 算 式 等		+	-	
既設舗装版取壊し工							
舗装切断	アスファルト	t=15cm以下	L=2.21×4	=	8.84		8.8 m
舗装取壊し	BH0.45m3	t=15cm以下	A=2.21×2.16	=	4.77		4.8 m2
Asガラ処分		t=5cm	V=2.21×2.16×0.05	=	0.24		0.2 m3
仮復旧工							
上層路盤工(RM-30)	t=12cm	t=12cm	A=2.21×2.16	=	4.77		4.8 m2
下層路盤工(RC-40)	t=10cm	t=10cm	A=2.21×2.16	=	4.77		4.8 m2
仮舗装工	t=3cm	t=3cm	A=2.21×2.16	=	4.77		4.8 m2
本復旧工							
舗装切断	舗装As	t=15cm以下	L=2.81×4	=	11.24		11.2 m
舗装取壊し	BH0.45m3	t=15cm以下	A=2.81×2.76	=	7.76		7.8 m2
Asガラ処分	既設舗装分	t=5cm	V=(7.76-4.77)×0.05	=	0.15		0.2 m3
Asガラ処分	仮舗装工	t=3cm	V=2.21×2.16×0.03	=	0.14		0.1 m3
表層工	再生粗粒度アスコソ20	t=5cm	A=2.81×2.76	=	7.76		7.8 m2

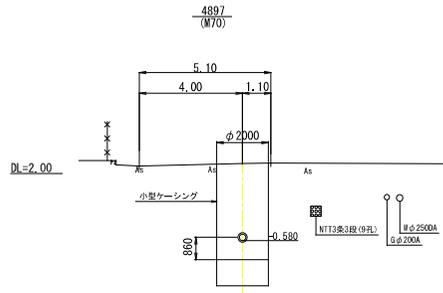
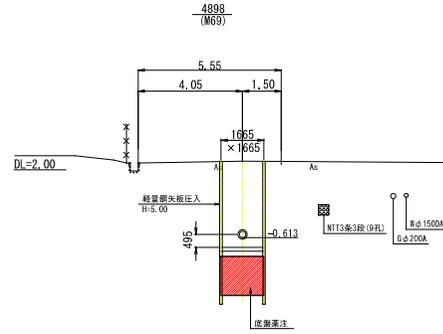
工区 M 70 立坑 舗装復旧工 (市道車道) As-5-10-10				箇所	算 出 値		計
名 称	仕 様	位 置	略 図 ・ 計 算 式 等		+	-	
既設舗装版取壊し工							
舗装切断	アスファルト	t=15cm以下	L=2.10×4	=	8.40		8.4 m
舗装取壊し	BH0.45m3	t=15cm以下	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2
Asガラ処分		t=5cm	V=2.10×2.10×0.05	=	0.22		0.2 m3
仮復旧工							
上層路盤工 (RM-30)	t=12cm	t=12cm	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2
下層路盤工 (RC-40)	t=10cm	t=10cm	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2
仮舗装工	t=3cm	t=3cm	A=2.10×2.10	=	4.41		4.4 m2

— 参 考 图 —

令和 4 年度

三原西处理分区污水管新設工事(4-1工区)

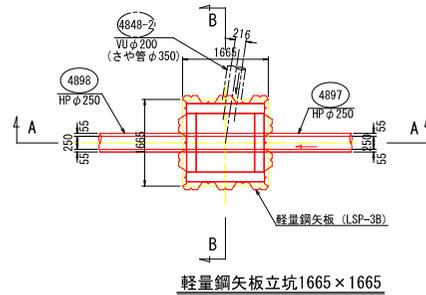
横断面図 S=1:100



令和4年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区汚水管新設工事 (4-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
施工管理番号			
図面番号	1/8	縮尺	1/100
横断面図			
三原市			

M-69 通過立坑構造図

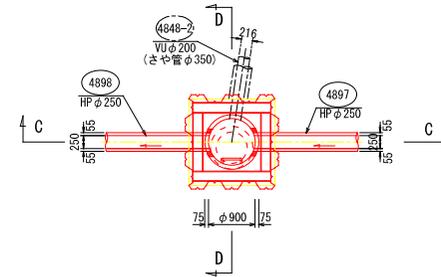
S=1/50



軽量鋼矢板立坑1665×1665

M-69 1号組立マンホール構造図

S=1/50

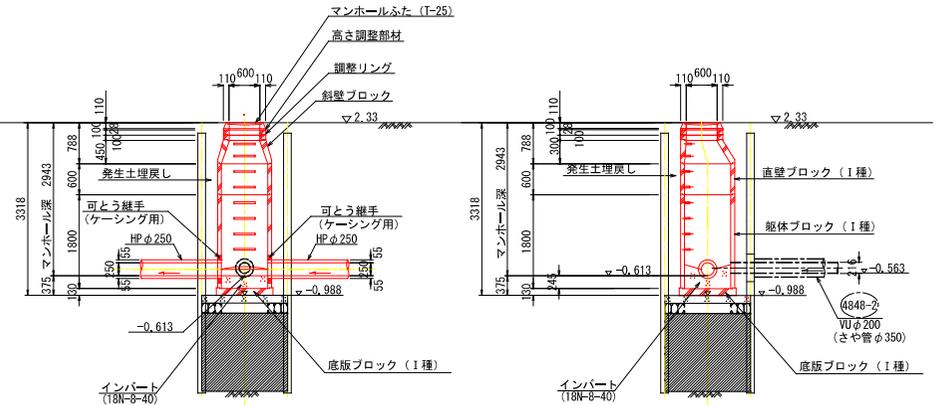
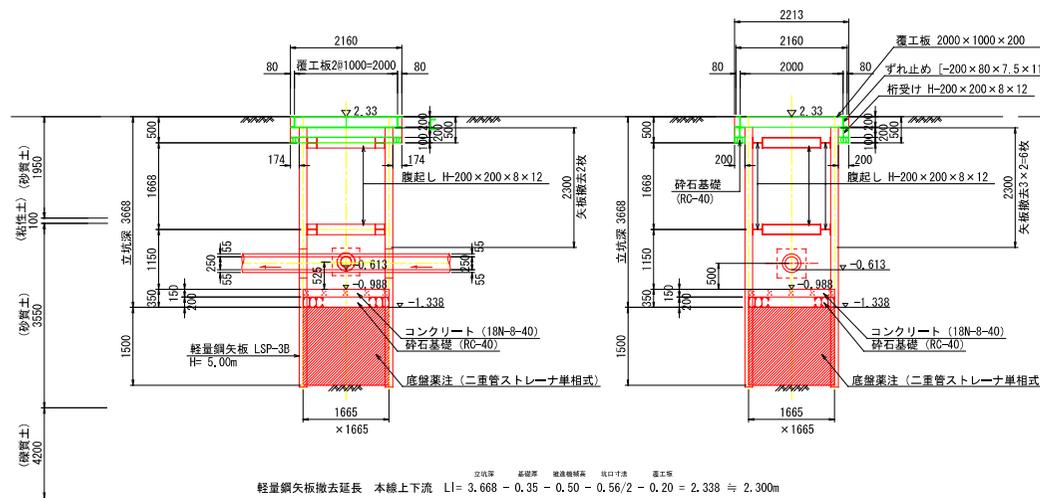


A-A 断面図

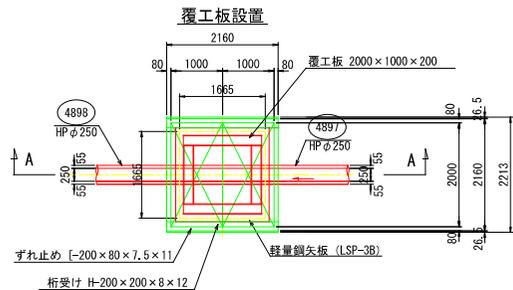
B-B 断面図

C-C 断面図

D-D 断面図



立坑深 基礎厚 側溝機材高 坑口巾 蓋工厚
 軽量鋼矢板撤去延長 本線上下流 $L1 = 3.668 - 0.35 - 0.50 - 0.56/2 - 0.20 = 2.338 \approx 2.300m$
 軽量鋼矢板撤去延長 枝線上流 $L2 = 3.668 - 0.35 - 0.525 - 0.53/2 - 0.20 = 2.328 \approx 2.300m$



舗装断面図

S=1/10

As (5-10-10)

層名	厚さ (mm)
再生粗度調整砕石 (RM-30)	10
再生クラッシャーラン (RC-30)	10
再生密粒度アスコン	10

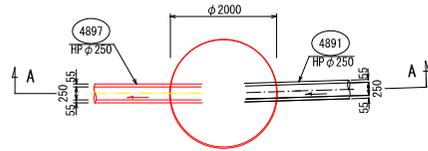
※ 推進機械による底盤Co計画高を求める。
 推進機械高=先導体外径/2+300mm
 底盤Co標高=下流側計画高 -0.613+0.25/2-(0.400/2+0.300) = -0.988m
 こちらの低いほうを採用する。

※ 1号組立M設置に必要な底盤Co計画高を求める。
 下流側のHP φ250に組立用可とう継手(推進管用)の設置に必要な削孔径φ530mm
 底盤Co標高=下流側計画高 -0.613+0.250/2-(0.530/2+0.100+0.130) = -0.983m

※ 覆工板は角形覆工板 (2000×1000×200) を使用する。

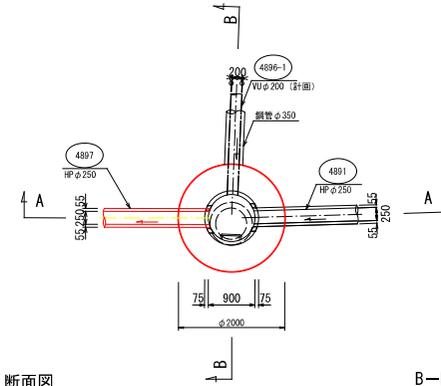
令和4年度 公共下水道事業 (汚砂・雨水)			
工事名	三原西処理分区分汚水管理施設工事(4-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
施工管番号			
図面番号	2/8	縮尺	図示
M-69 両発進立坑構造図			
M-69 1号組立マンホール構造図			
三原市			

M70 両発進立坑構造図
S=1/50



鋼製小型立坑 φ2000

M70 1号組立マンホール構造図
S=1/50

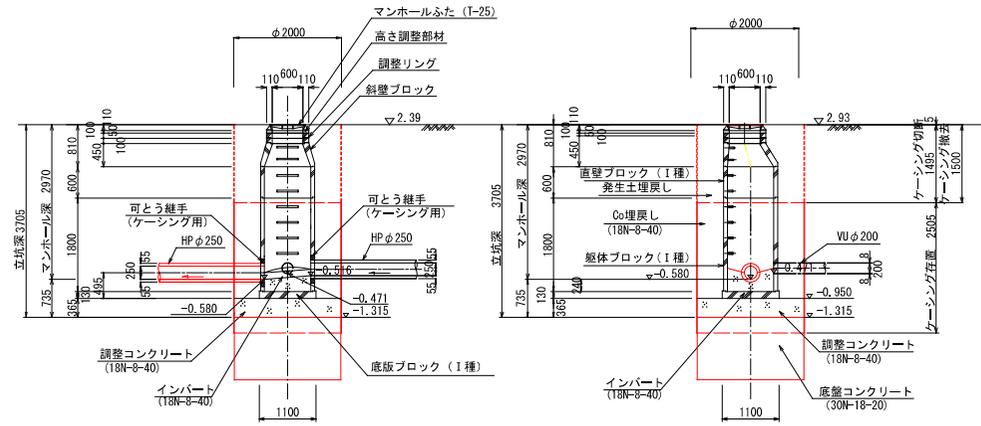
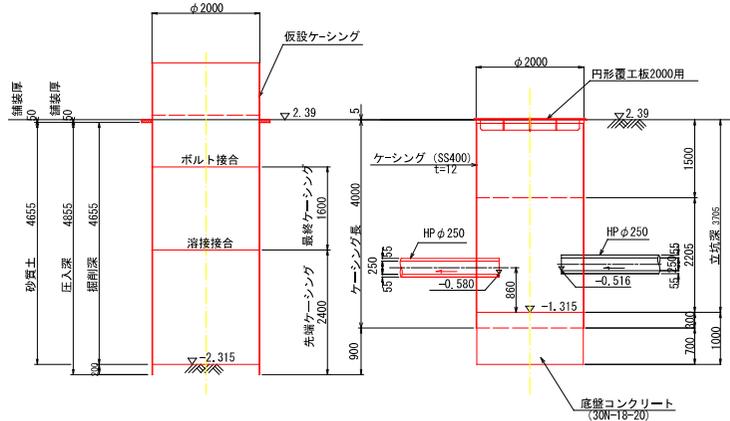


A-A 断面図

B-B 断面図

ケーシング圧入時

底盤コンクリート築造時

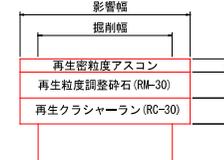


円形覆工板 φ2000用
(参考図)



舗装断面図
S=1/10

As (5-10-10)



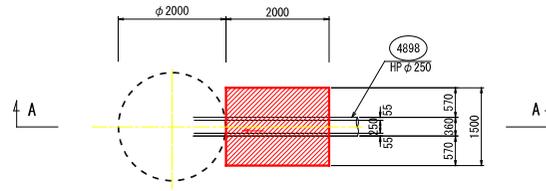
※ 推進機械高による底盤Co計画高を求める。
推進機械高=860mm
底盤Co標高=下流側計画高-0.580+0.25/2-0.860=-1.315m
こちらの低いほうを採用する。

※ 1号組立M設置に必要な底盤Co計画高を求める。
下流側のHP φ250に組立用可とう継手(推進管用)の設置に必要な削孔径530mm
底盤Co標高=下流側計画高-0.580+0.250/2-(0.530/2+0.100+0.130)=-0.950m

※ 覆工板は円形覆工板 (2000用) を使用する。

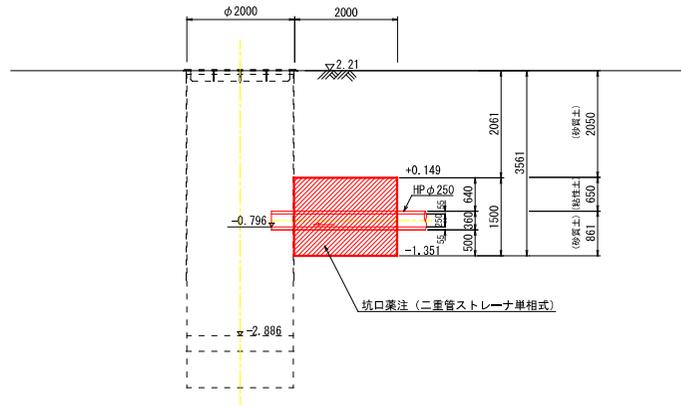
令和4年度	公共下水道事業	(汚水)・雨水
工事名	三原市処理区分区汚水管新設工事(4-1工区)	
工事場所	三原市 頼兼一丁目	
施工管番号		
図面番号	3/8	縮尺 図示
M-70 両発進立坑構造図 M-70 1号組立マンホール構造図		
三原市		

M-13 既設到達立坑（上流）薬注構造図
S=1/50

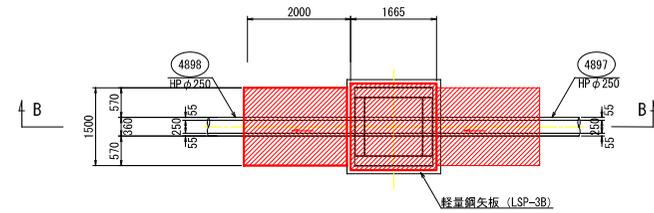


鋼製ケーシング立坑φ2000

A-A 断面図

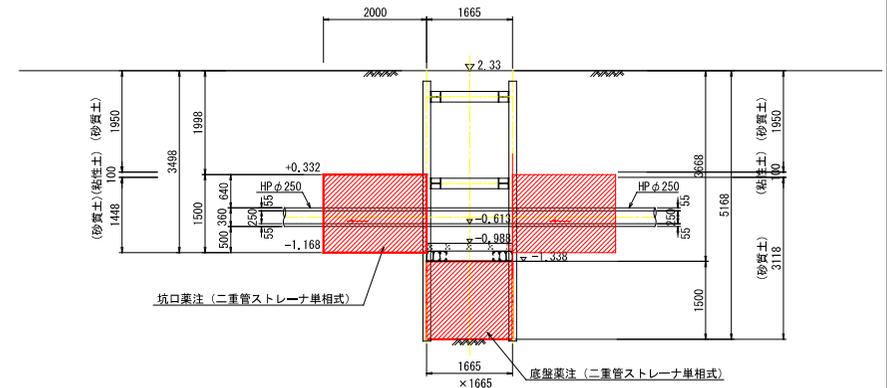


M-69 通過立坑（下流）、底盘薬注構造図
S=1/50

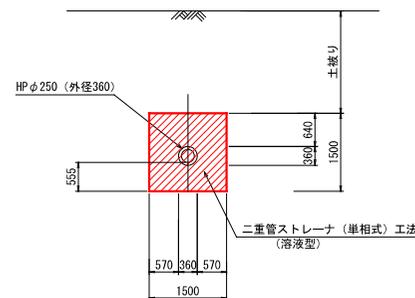


軽量鋼矢板立坑1665×1665

B-B 断面図

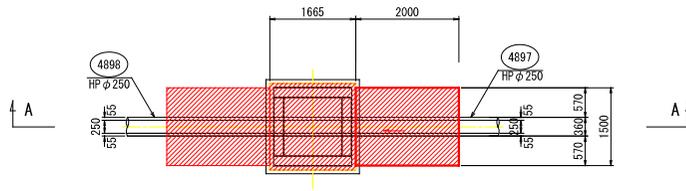


標準断面
S=1/50



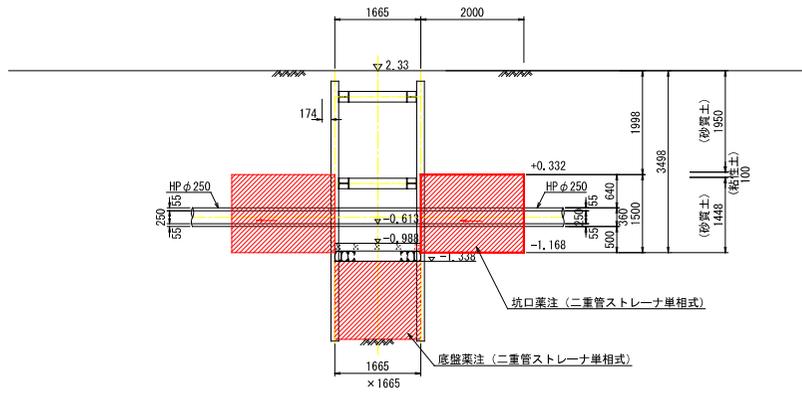
令和4年度 公共下水道事業（汚水・雨水）			
工事名	三原西処理分区分汚水管新設工事（4-1工区）		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
施工管番号			
図面番号	4/8	縮尺	図示
M13 既設到達立坑（上流）薬注構造図 M69 通過立坑（下流）、底盘薬注構造図			
三原市			

M-69 通過立坑 (上流) 薬注構造図
S=1/50

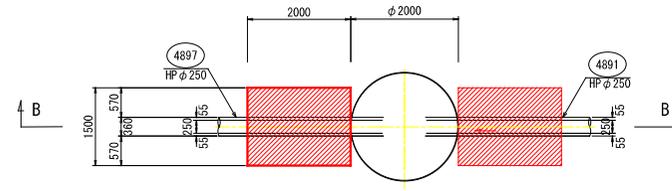


軽量鋼矢板立坑1665×1665

A-A 断面図

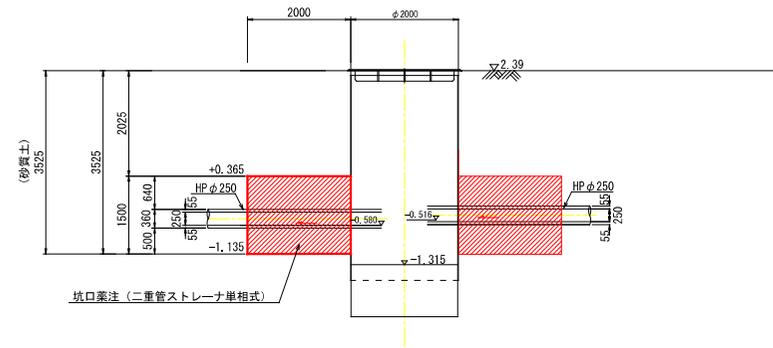


M-70 両発進立坑 (下流) 薬注構造図
S=1/50

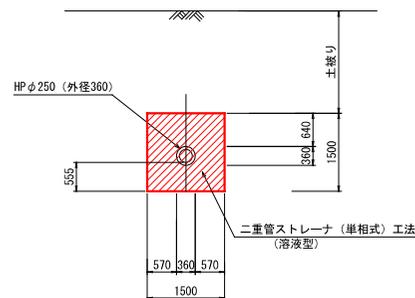


鋼製ケーシング立坑φ2000

B-B 断面図



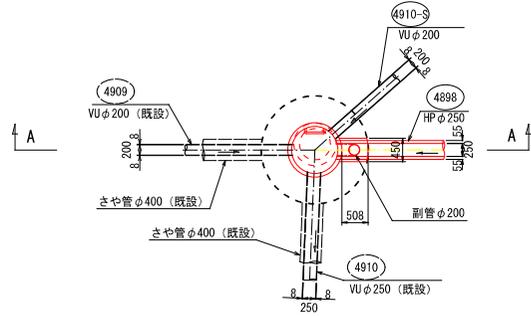
標準断面
S=1/50



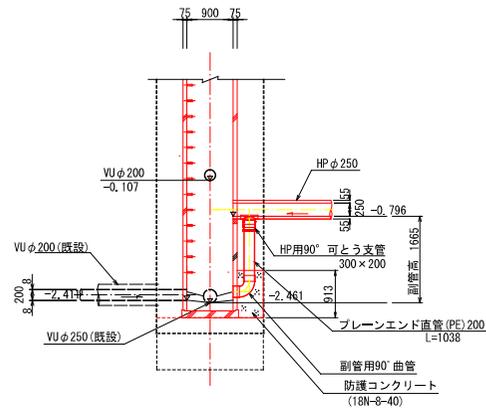
令和4年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分区汚水管新設工事 (4-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
施工管番号			
図面番号	5/8	縮尺	図示
M69 通過立坑 (上流) 薬注構造図 M70 両発進立坑 (下流) 薬注構造図			
三原市			

M13 1号組立マンホール副管構造図

S=1/50

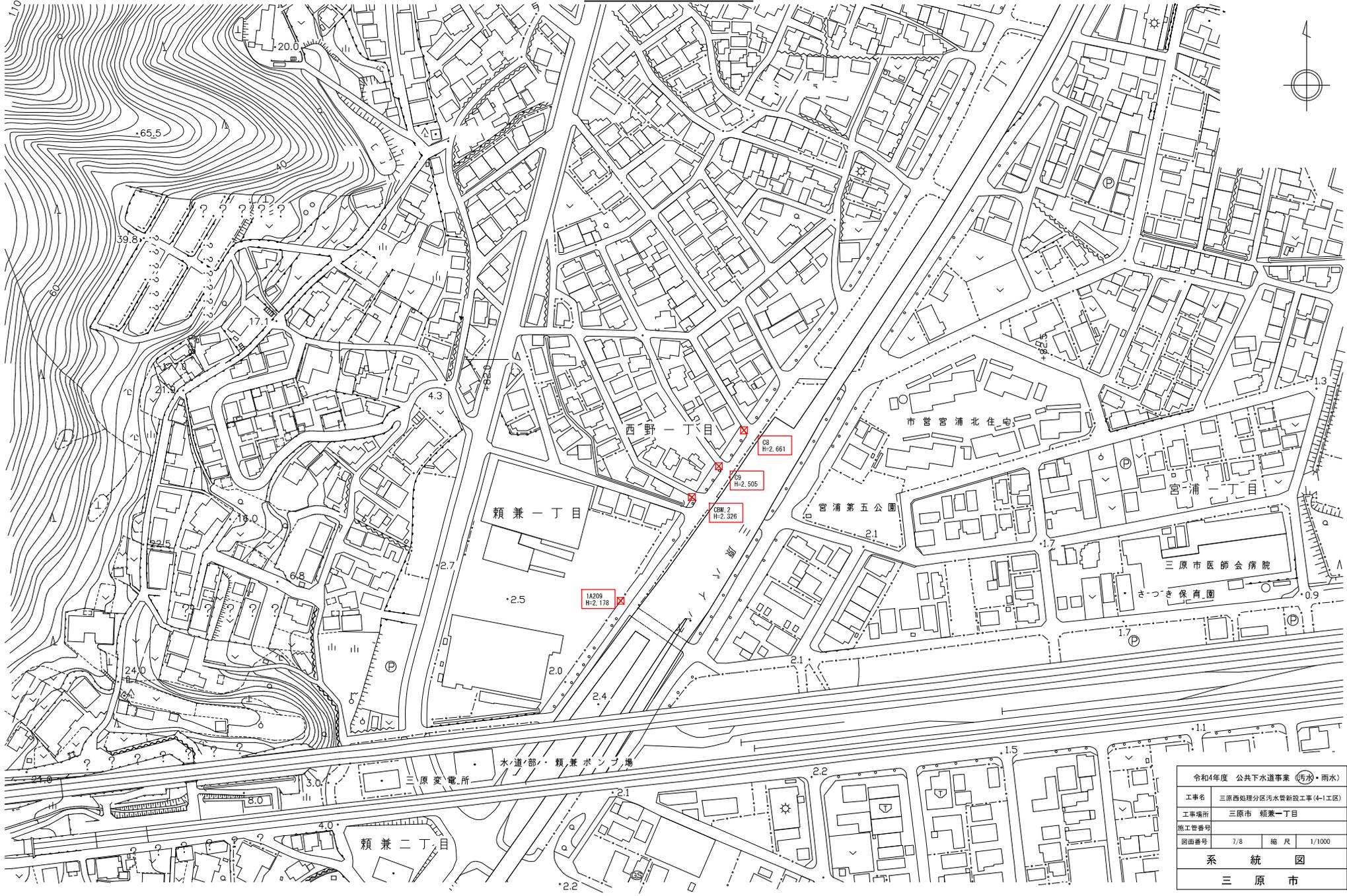


A-A 断面図



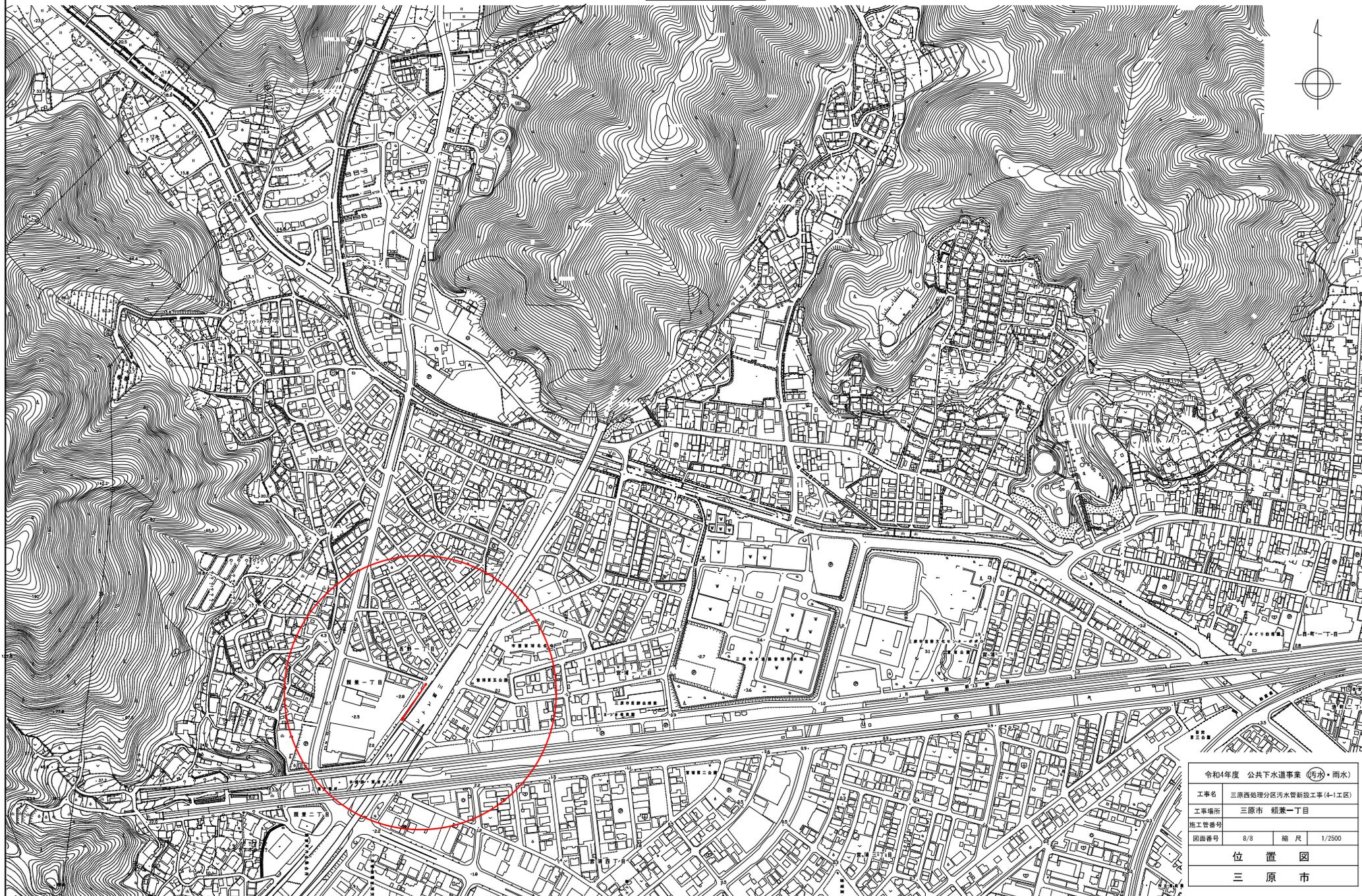
令和4年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)			
工事名	三原西処理分區汚水管新設工事 (4-1工区)		
工事場所	三原市 頼兼一丁目		
施工管番号			
図面番号	6/8	縮尺	図示
M13 1号組立マンホール副管構造図			
三原市			

水準点位置図 S=1/1000



令和4年度 公共下水道事業 (汚水・雨水)		
工事名	三原西処理分区分水菅新設工事 (4-1工区)	
工事場所	三原市 頼兼一丁目	
施工管理番号		
図面番号	7/8	縮尺 1/1000
系 統 図		
三 原 市		

位置図 S=1/2500



令和4年度 公共下水道事業 (汚分・雨水)	
工事名	三原西処理分区汚水管新設工事 (4-1工区)
工事場所	三原市 須兼一丁目
施工管理番号	
図面番号	8/8 縮尺 1/2500
位置図	
三原市	